



東京 陵水

賀正
令和8年元旦
陵水会東京支部役員一同

1	面	年頭所感(緒方支部長)	16	面	寄稿
2	面	総会 井本さん講演録	19	面	自由メッセージ
7	面	総会トークセッション	20	面	同好会
11	面	支部活動報告	23	面	陵水文芸・編集所感
13	面	支部活動報告	25	面	年会費納入者一覧
13	面	こんにちは	27	面	広告・奥付

年頭所感 「より広くより豊かな交流を目指して」

陵水会東京支部長 緒方 俊輔

陵水会東京支部の皆様、新年の挨拶と支部活動の方針報告を申し上げます。支部長就任時に掲げた「参加して良かった東京陵水」を実現するため、会員の裾野拡大と会員交流の活性化、収入増による活動基盤強化を目指して取り組んできました。重点施策は二点です。一つ目は「幅広い層の参加、連携、協力」で、メール配信（昨年10月末までに78回）やホームページでの情報発信（2024年7月以降10月までで27回お知らせ掲載）に努め、汐留KC BASEを拠点とした月例懇話会の開催開始やNextRyosuiスタディミーティングも継続開催されました。若手次幹事が8名加わるなど世代間交流も進みつつ、次回総会・懇親会はあらゆる世代がよ



より、ホームページ改定費用の大部分を賄うことが出来ました。今後も年会費への理解促進と寄付・広告の拡充で運営基盤を整備し、若手負担の軽減に努めます。母校・滋賀大学が文理融合と未来創生を掲げ人材育成

り参加・懇親しやすい企画を目指しています。二つ目は「財務基盤の安定強化」で、物価高の中で総会・懇親会参加費改定を行いながら広告収入と寄付の強化に注力し、皆様方のご協力に



滋賀大学コミュニティ・プレイス@汐留 KC BASE

に注力する中で、大学と陵水会の協働に向けて、支部における強固で幅広いネットワーク構築が重要です。世代を超え、未来志向で大学や学生に貢献し、会員が切磋琢磨する陵水会、特に東京支部がその中心的存在たるべく、より広くより豊かな交流を目指して、役員・幹事・会員一丸となって前進して行きますよう。会員の皆様方の人生が陵水会活動を通じて、より一層充実したものになることを新年に当たり祈念申し上げます。



志ある人材と志ある企業をつなぐ
クライス&カンパニー

経営幹部、CXO採用でお困りでしたら是非ご連絡ください。

代表取締役社長

丸山 貴宏 (大34回)

maruyama@kandc.com

株式会社クライス&カンパニー

東京都港区東新橋2-4-1 サンマリーノ汐留2F

www.kandc.com





ハートツリー株式会社

日本文化と、SDGsをキーワードに
イベント企画、商品企画をおこないます
業務内容
・和楽器演奏家の派遣
・イベント企画、地域活性
・環境に優しい企業ノベルティの販売

代表取締役 **服部 進** (大37回)

〒106-0046 東京都港区元麻布3-10-4 Re-Flat 303
電話：03-6804-2545 FAX：03-6893-3344
ホームページ <http://heart-tree.com/> メール：info@heart-tree.com



海老せんべい製造卸・小売・各国産乾海苔問屋



株式会社 ヤマ伍三矢商店



代表取締役 三矢 誠 (大25回 小倉ゼミ 水泳部)

〒444-0426 愛知県西尾市一色町治明大戸前10
TEL (0563) 72-8117
E-mail yamago@katch.ne.jp
<http://www.yamago328.com>



紺綬褒章受章 ありがとうございました。



ジャパン SHIPPING サービス株式会社

代表取締役 **武田 吉史** (大30回)

〒105-0004 東京都港区新橋 1-1-1 日比谷ビルディング2階
TEL: 03-3580-7733(代) 03-3580-0711(直通)
Fax: 03-3580-7737 URL <https://www.jship.co.jp>
E-mail: info@jship.co.jp (会社) yoshi-takeda@jship.co.jp



Best Solution Co., Ltd.

ベスト・ソリューション株式会社 ☎03-5652-0172 生保・損保のご相談/相続・M&A 案件は、弊社にお任せ下さい!



〒103-0001
東京都中央区日本橋小伝馬町 12-9 滋賀ビル 801

ベスト・ソリューション株式会社

代表取締役 上林 好一 (かんばやし よしかず) 大26回卒

TEL: 03-5652-0172 携帯: 090-1776-8543
Mail: y.kanbayashi@b-solution.jp
HP <https://www.b-solution.jp>

*法人/個人 何れの案件も承っております



MIA
Medical & Industrial Advisory

MIA法律事務所 / 代表弁護士

事業・ご家庭のことなど気軽に下記までご相談ください。



東京オフィス 東京都文京区小石川 1-5-1-402

TEL. 03-3830-1045

高崎オフィス 群馬県高崎市東町 32-1-201

TEL. 027-329-5043

HP: <https://mialawoffice.jp>

E-mail: aoki@mialawoffice.jp



代表弁護士・税理士・社会保険労務士 青木 聡史 (大45回・平成9年卒)

令和7年度 東京支部総会

令和7年度の陵水会東京支部総会は、総勢183名の参加により7月5日(土)上野精養軒で行われました。今回もグリーンクラブOB有志による学歌斉唱による開幕となりました。まず、この一年間の逝去会員および佐和隆光元学長を偲び、全員で黙

和祈。緒方俊輔(大29回)支部長の開催の挨拶に始まり、竹村彰通学長より、大学院経営分析学専攻や「イニシアティブ棟」概要、データサイエンス(以下DS)学部と修士の定員増、アト融合や経済・教育連携等大学の現況や方針についてお話を頂

きました。また、市川治DS学部長からは、学部立上げや企業派遣学生等の陵水会支援への感謝と日本でNo.1のDS学部を目指すとのお話があり、陵水会池田理事長からは陵水会の課題など現状についてのお話がありました。

総会は山本保(大15回)議長の下、全ての議案は賛成多数で承認されました。講演会は、在彦根の合同会社 mitei 代表 井本望夢氏(DS1回)による「中小企業もデータ分析を。彦根か

ら発信するDS、DX」と題する起業動機や活動事例、理念や今後の目標などのお話しを頂き、続いて保科架風特任准教授の進行にて学長、井本氏、DS

学部一期生2名によるパネルディスカッションが行われ、各々現場での実務や課題、求められる人物像など大変興味深いやり取りがなされました。

能島伸夫顧問(大21回)の乾杯挨拶で開始された懇親会では学生と新卒者(大73回、DS5回)の自己紹介、宮西賢次准教授のご挨拶、当番幹事交代式など盛況のうちに進行。平居俊雄氏(大12回)の締め言葉に続き、高商校歌を全員で斉唱し終了致しました。



井本望夢さん講演録 『中小企業もデータ分析を。彦根から発信するDS、DX』



・滋賀大学 データサイエンス学部 1回卒
・合同会社 mitei 代表

皆様こんにちは。先程ご紹介にあずかりました合同会社 mitei 代表の井本と申します。よろしくお願ひ致します。今日は『中小企業もデータ分析を。彦根から発信するデータサイエンス(DS)、デジタルトランスフォーメーション(DX)』というタイトルで講演させて頂きたいと思います。

プロフィール

私は1998年生まれで今年27歳の年で今26歳です。出身は愛媛県松山市で普通科の高校を卒業し滋賀大学のデータサイエンス学部1期生として入学しました。在学中の4回生の6月に合同会社 mitei を設立し、8月に彦根キャンパスで第1号とな

る滋賀大のベンチャー認定を受けました。今、彦根キャンパスの中にオフィス一室をお借りして活動しています。2021年に卒業して今年が回ったところになります。

仕方とか、データサイエンスがどんなふうに使われているのかについて企業の方に説明したいのでそれを聞き、自分たちが今学んでいることがどういふふうに使われるのかということを知りたいです。

所属していたゼミが河本薫先生のゼミで、今やっている事業に直結した内容を学ばせていただきました。

3回生・4回生はゼミや選択科目でより専門的に学んでいくのですが、ゼミを中心に今の業務に直結する知識と技術を得た時期でした。

部活は女子バスケットボール部で、彦根キャンパスで設立されたのが新しく私は7代目の代

① データサイエンス学部で学んだこと

まず「データサイエンス学部で学んだこと」ですが、データサイエンス学部のカリキュラムも出ているのでざっくりしたところになりますが、1回生・2回生で統計学とかプログラミングの



に受けられる授業もあったので、私は経営学や簿記なども受講していました。

なぜ起業したか

起業を考え始めたのは2回生の時なのですが、1回生の時に色々幅広く学んでいく中で、データサイエンスの活用は、大企業と中小企業では貧富の差ではないですが、結構活用の仕方に差があるのだなと感じました。そこに寄り添える企業は、特に地方だとあまりないのではないかと感じて起業を考え始めました。実際に起業したのは4回生の授業も少なくなって部活も引退し、結構時間ができたところで起業しました。

河本先生のゼミで自分がどういふことを研究してきたのか、さらっと触れておきたいのですが、かなりビジネス寄りのことを研究しているゼミでした。実際に企業の方のお悩みを企業の方のデータを使って分析し、施策提案までして行こうという流れで取り組んでいました。

例えば、チョコレートの売上を向上させるためにどういうアプローチをしたらよいかという課題を、購買データやアンケートを使って、こういう人がこの

チョコレートはもつと売上が上がる可能性があるのではないか、こういう人たちに向けてどういふことを言ったら反応が返ってくるだろうか等の提案をさせて頂きました。

全体を通して、問題発見から取り組むべき課題を見つけ、その課題解決に向けた動きをするという一連の流れや考え方、分析の進め方を学びました。それが今の私の事業の軸となる知識に繋がっています。

② 何をやっている会社なのか
今メインでやっているのがデータ分析事業と教育事業の大きく2本柱があり、RPA事業とかアプリ開発も少しやっているというような状況です。

データ分析事業に関しては、分析を依頼される企業が持つておられるデータを使って分析をする受託や、これからデータ分析を進めていくに際してどのよう活用していったらいいのかというご相談を受けるコンサルティング的なところが中心です。

教育事業は、統計学やデータ分析のワークショップで軽く体験していくセミナーの開催、および今日のような講演で登壇してお話させて頂くこともやって

います。RPA事業は今のところWIN ACTOR と パワオートメイト (Power Automate) というツールを使って、定型業務の自動化支援ということをやらせて頂いています。

アプリ開発事業は、今ちょっとストッパしているのですがアプリの受託開発企業や、自社で使うアプリの開発を受託して開発していくことをやっています。

これらの事業を「今から始めるぞ！」という企業向けに事業を行っているのが弊社の活動内容になります。

理念として『初めの第一歩をYOUTOと共に！』を掲げ、今からデータサイエンスとかDXを始めていくぞっていうような企業の方がコスト面とか、知識面とかであまり壁を感じずにスタートできるような、寄り添っていきけるような事業をしたいの思いで今、活動をしています。

データ分析事業の主な取引先、相談内容など
取引先も業種は幅広いですが、滋賀県が製造業多めの県なので

製造業が多いのですが小売業や経営コンサルティングの方と協業して一緒に分析することもあります。学校や行政で分析させてもらうこともあります。ツイッター(X)も出しているのですが殆ど更新できなくて継続して更新できなかったらと思っています。

データサイエンスやDXがどんなことができるかというところ、コストを減らす、売上を伸ばす、顧客満足度を上げたい、意思決定にこれまでのような勘や経験ではなく根拠を持ってやりたいとか、ベテランさんの勘や経験に頼っている所を新人でもすぐできるようにしたい、イノベーションの促進、異常の検知や面倒な作業の効率化といったことなどが出来ると言われています。

ところが、弊社によく来てくれるような相談はもつともつと初歩の段階の内容も多く、『データ分析って、自分の会社や業界でどんなことができるのかな？』という相談から『データはセンサー等で自動的に取れて沢山あるが全然活用できてない』とか、反対に『全然データがない、こういうことをしたいがそのためのデータがない、どうしたらいい？』みたいな方もいらっしやいます。また『デー

タを活用できる社員を増やしたい、自分たちでできる簡単なところは自分たちで出来るようにしたい』という方もいらっしやいます。やりたいことはあってもある程度自分たちでも出来ることは増えてきたが、『これからどうやって分析を進めていったらいいのか、精度を上げるためにどうしたらいいのか』という分析方針の相談に乗って欲しいという段階の方もいらっしやったりしています。

相談の流れとしては、最初の頃はアバウトなお悩み事が多いのでそれらのお悩みをリストアップする、または洗い出すところから一緒に手伝いさせてもらって、そこからお悩み事(問題群)を整理してその解決方法としてデータ分析でアプローチできることと、データ分析やパソコンではないアプローチで決できそうなところもあつたりするので、そこを相談して行きながら、取り組めそうな課題を設定する流れが多いと思います。

教育事業の内容
教育事業はいくつか例を紹介させて頂きます。この写真は滋賀大と一緒に地銀の職員さんを対象にやらせて頂いた研修会で

すが彦根キャンパス内にあるパソコン室で、ここに地銀の方が来られエクセルでも簡単にデータ分析で出来ることをテーマに統計学も学問的な知識も踏まえつつ勉強する研修会です。



高校生・大学生に対してもデータサイエンスやアントレプレナーシップについて講演やワークショップ、セミナーを開いたりしています。

企業向け研修については新入社員向けに意欲的に物事を考えるための研修で講師をしたり、SDGsフォーラムはレアなケースですが銀行の頭取さんや会社のトップの人たちと並んでSDGsを語ったこともあります。

—RPA事業の内容

RPAというのはロボティック・プロセス・オートメーション

の略語で人間がパソコン等で日常的に行っている作業を機械にやらせてしまおうというものです。

RPAの事例として、例えばECサイトで注文を受けた商品へ名前などの刻印やイラストや特定の文字などを書き込むために、これらのデータを加工して工場へ発注する工程にRPAを導入し自動化しました。これにより作業時間を大きく短縮でき、3年前ぐらいにやらせてもなかったものが今もバージョンアップしながらずっと使ってもらっています。

分かりやすい例として、従業員の勤怠情報(紙)をパソコン等の勤怠管理システムに登録するために事務員さんが紙から手入力で打つことから始まり、それにいくつかの加工をして勤怠管理の資料を作るような作業を自動化するとか、売上データから粗利率を作成するまでを自動化するというのもよくあります。

これらの勤怠管理や粗利率の管理は、本当は毎日やりたいが作業時間が長く手間がかかるから週に1回しかやれてなかったのがRPAによって自動化できたことで毎日できるようになり管理精度が上がったというような

ことをやっています。

—データ分析の事例

この事例はメディアでも紹介されているので目にしたことがある方もいらっしゃるかもしれませんが、データ分析を「倉庫の管理」に使った事例です。倉庫には商品を置いてある棚があります。これまでもそれぞれ

の棚について、いつどの棚でどの商品が何個動いたかということや、データを取っていたデータが、何か商品を棚から取ったらピットとやって、違う棚へ移したら、またピットとやって、というようにデータ分析するために取っていたデータというより、この商品が今どの棚にあるかを管理するために取っていたデータでした。

この会社から受けた元々の相談は、倉庫に保管している商品について梱包などがある度に、どうしても商品を置く棚を何回も移動させるので、その移動の負担を軽減できないか?という相談でした。

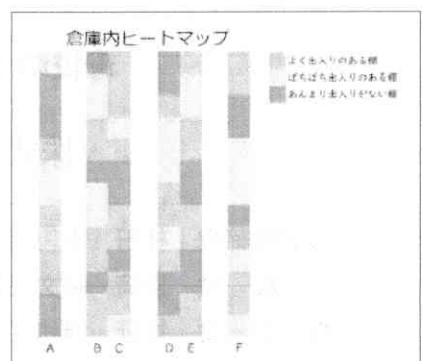
相談いただいた方からは、棚から別の棚へ商品を移動する回数自体は減らせないが、従業員さんが商品を移動させる負担を

減らすのに何か良い方法はないか?というところで検討が止まっている、ということでした。いろいろ話しさせて頂き、従業員さんが商品の移動を効率よくできるような商品の配置にしていきたいと思いますという話になって、この分析をさせて頂きました。

元々バーコードで取っていたデータは(図1)のようにいつどの棚にどの商品が何個あるかが並んでいるだけなので、この棚は商品が多いな、ということからは分かるかもしれませんが全部見るのも大変なのでヒートマップで色分けをしました。

日付	棚	商品	個数
202101011001	A-01-02	MT0605	2
202101011003	A-05-01	PD0031	6
202101011011	D-02-05	NP3990	10
202101011025	F-11-03	MT1109	3

図1 入出庫データ

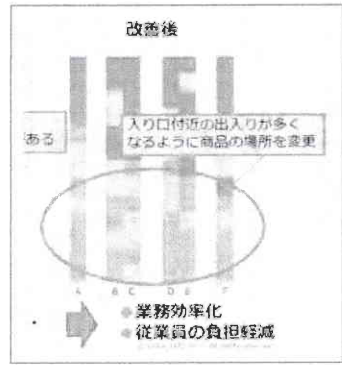


このヒートマップは倉庫の棚を上から見た図です。A B C D E Fと書いてある下の方が、倉庫の入口側で、上が入口から遠い方です。A B C D E Fは棚の列を表した記号です。それぞれの列の中で赤い所が商品の出入りが多い棚で、黄色い所がぼちぼちな棚、青があまり出入りがない棚になっています。

最初にヒートマップを作ったときは、一番手前の倉庫の入口側なのに全然使っていない棚があったり、一番入口から遠い方なのに商品の出入りが多い棚があったり、従業員さんが奥の棚まで行ったり来たりしていることが分かりました。

この会社は、倉庫の入口側によく動く商品を集める方がいいですということでしたので、入口付近の出入りが多くなるよう

に商品の棚の場所を変えていくという形で改善を進めました。



一気には商品の棚を動かさないで、今どうなっているか現状把握して、ここに動かしてみようと改善して、また今の状態見て改善して……を何回か繰り返していきました。

これをやることで業務の効率化にもなりましたし、従業員さんの負担軽減にもなりました。フォークリフトも使っていたのでそのエネルギーの削減にも繋がりました。

元々は効率化ということだけで進めていたのですが、これをヒートマップなどで可視化して従業員さんに見せると、自分たちは商品が場所が変わるのは結構面倒くさいという気持ちになるのですが、反面これを見ることによって移動の負担が楽になっていくというところも可視化されて分かったので、現場

の人からの賛同も得つつ進められた案件です。

これは「見える化」の事例として紹介させて頂きましたが、自分たちのデータ分析の進め方として、機械学習して予測分析して……ということもあるのですが難しいことをしなくてもデータから得られる知見はたくさんあるということを軸に置いて、それを伝えながらクライアント企業の中でいずれば自分たちだけで出来るようになったらいいなというところを大事にしな

ら、分析事業をやっています。製造業ですと特に「見える化」

して得られるものはすごく多くあると思いますし、データも沢山あるのでそういうところから進めていくと現場の賛同も得られやすく、成功体験やデータ分析のうま味のようなところが分かかって進めやすくなるのではないかと思っています。

③ 今後の展望

今後の展望ということで弊社が今後どういうふうに進んでいきたいかをお話したいと思

います。組織としての体制を整える
今5年が回って6年目がスタ

ートしたところですが、ずっと自分含めて2人でやっている会社で途中増減あったのですが、組織としての体制がまだまだ立っていない状態です。社員を迎えるにしてもアルバイトの方に手伝わしてもらっても働きやすそうに整えていきたいということが直近の会社としての目標になっています。

「データ活用の第一歩」に寄り添い続け、ともに成長していく

長期的にというか継続してということになるのですが「データ活用への第一歩」はこれからもずっと軸に寄り添い続けていきたいと思っていますし、手伝わせて頂いている企業さんと共に一緒に成長していきたいとすごく思っています。

「徐々に地域も拡大し全国進出

今今は近畿圏中心でちよく愛媛県とか名古屋も行ったりにしているのですがもつと地方の企業さんは同じように困っている会社は多くあると思いますので徐々に地域も拡大していき、全国進出したいと思っています

す。東京の方ももっと仕事を増やして気軽に来られるような形に、こういう会にも参加できるようになれたらいいなと思っています。

滋賀県をデータサイエンスで引っ張っている存在に

これらを基に滋賀大学を中心に、滋賀県をデータサイエンスのシリコンバレーに！みたいな動きもあると思いますが、その先頭を走っているような存在になれたらと思っています。滋賀県をデータ分析で引っ張っている企業に成長していきたいなというところをすごく思っています。

Etc.という会社を知らなかった方も多くいらっしやると思いますが、こういう会社があるのだぞということをお見知りおきいただいで応援いただけますと嬉しく思います。

今後ともよろしくお願いいたします。ありがとうございます



母校のますますの発展を祈念いたします

株式会社 陵水艇友会

代表取締役 林田 幸親 (大26回)
取締役 岩崎 和文 (大21回)
取締役 牧野 博和 (大28回)

〒850-0877
長崎市築町5番17号サイモンサウスビル104号
TEL 095-848-0650 E-mail hcpa4@fsinet.or.jp

トークセッション

井本さんの講演に続き、竹村学長・井本さんを含む4人のプレゼンターと保科特任准教授（DSセンター）の司会でトークセッションが行われた。



■プレゼンター
・竹村 彰通 滋賀大学学長
・井本 望夢さん mitel代表
・上田 知展 DS学部1期生
現職・大同生命保険㈱
データサイエンティスト協

学生会委員

・大久保 一 DS学部1期生
現職・(株)IHI

(旧・石川島播磨重工)

滋賀大学DS研究科

博士後期課程在学中

■司会 保科 架風

DSセンター(DS・AII)

ノベーション研究推進センタ

ー) 特任准教授

ー自己紹介からー

〈保科〉

DSセンター、特任准教授の保科です、どうぞよろしくお願ひいたします。まずはここにいらいっしやる皆さんの現在の業務について簡単にご紹介いただければと思います。

【竹村学長】

長期的にお金のことを含め大学の将来を考える日々です。

【大久保】

弊社「IHI(旧・石川島播磨重工)」は重工業メーカーで航空機、ロケットや橋梁とかそういう大きいモノ作りをしている会社ですが、私は社内のデータ活用全般のコンサルティング的な立場で関わらせていただいております。

【上田】

大同生命保険でデータサイエ

ンティストとして働いています。

弊社は中小企業向けに生命保険を販売している会社です。社内各部署と協働してデータ分析をしております。最近ではデータサイエンティストの育成や社外のデータサイエンティスト協会での活動もしています。

【井本】

先程、講演でお話させて頂いた通りです。

ー今の仕事で学生時代に学んで役立っていることー

〈保科〉

現在お仕事をされている中で、学生時代に学んだことやこれまでの経験で役に立っていることについて教えて頂けますか。

【竹村学長】

研究と仕事の内容については研究が役立っているかよく分かりませんが、海外留学したこと

もあって色々な文化を経験すると自分を含めて客観的に物事を見るようになる、目の前のこと

であまり右往左往しないということがあるかと思えますね。

研究も全体的かつ長期的に考えつつやることがあり、そういうところでは少しアドバンテージ

があるかなとは感じています。

【大久保】

私は学部生の初めの頃の統計学の基本的な勉強が今になってすごく役立っていると感じます。社会人になってからもやはり

日々勉強ではあります。明日から使える知識。みたいなものに引く張られる感があり、いざ腰を据えて統計学を改めて勉強しようというのは結構なハードルだと思うのですが、その点

大学の先生方にしっかり教育していただいたので、その上の積み重ねで今やれているということはすごく良かったと思います。

一方で座学と実務の間のギャップのようなところも学生時代

からすごく意識できる教育カリキュラムだったので会社に入ってからカルチャーショックも

あまりなくやれたのかなと思えます。すごくいい環境だったなと思っています。

私にとって一番役に立ったのは、3・4回生で取組んだ企業との課題解決演習です。

彦根が発祥のスーパーマーケットからデータを提供いただき、アプリのモバイルクーポンの分析をしていました。この演習のお陰で就職後も、データ分析はあくまでビジネス課題を解決するための手段」ということを意

識して仕事できているのでとても良かった取組みだと今も心に残っています。

【井本】

大学で学んだことはそのまま今の仕事に生かされています。1回生で学んだことは知識の引出しとなって、今その上に日々学びながら色々進めているので大学時代のことは全部活用できて

いるのですが、授業以外のことで言うと滋賀大学のデータサイエンス学部を選んだということ、その選択をしたこと自体が今の

起業に繋がっていると思います。日本で初めての学部で、カリキュラムはありますが授業も手探りで進めていたような大学に

来たというのが、今自分が就職せずに起業してやりたいことをやっていることに、もしかしたら繋がっているのかなというこ

ともちよっと思えました。

【保科】

ありがとうございます。やはり1期生なんかは新しく立ち上がった学部の中で注目を集める機会も多かったですし、そういうところにいるんならアドバンテージを受けられたのではないかなと思います。一方で2期生3期生にそれをうまく渡して欲しいなと期待するところですね。

「データサイエンティストの実務について」

〔保科〕

データサイエンティストの実務の話をお聞きしたいと思えます。特にデータサイエンス、私はデータを活用した問題解決というふう言葉で定義することが多いのですが、一方で、仕事でデータを活用するということが自

〔上田〕

体が結構難しく感じることも多いかと思えます。そのような中で皆様はどういうふうにお仕事をされているのか特に業界業種さらには自分の部署なんかによっても違うかと思えますが可能な範囲でお話いただければと思います。

大同生命では様々な部署と協働してデータ分析を取組んでいます。営業の分析を始め、お客様の理解を深める分析など、様々なテーマの分析を取組んでいます。大同生命から中小企業向けに経営支援サービスを複数提案しているのですがどのサービスを提案したら良いかみたいなのレコメンド分析にも取組んでいます。

私が最近携わったところでは生命保険に入る時に健康状態を査定する業務があるのですが、そこでAIを活用して査定担当者の支援をするといった案件を取組みました。

〔大久保〕

弊社は製造業なのでよくあるのは工場のデータを使った分析がすごく多いです。テーマとしては異常検知だったり、要因分析だったり需要予測が多いかな

〔井本〕

自分はお客様のデータ分析を手伝うという形が殆どですが、お客様の知識のレベル感も全くバラバラですし、そこは自分もいろいろな方と接することができて楽しいなと思っている部分ではあります。

全く何も知らないという方のお手伝いをさせていただく時などは本当にデータ分析の手

個目ぐらいの所からスタートして、データ分析ありきじゃなく、データ分析以外で解決できる選択肢もあるという所から始めさ

せていただくことが多いかと思

っています。

大きい企業になってくると自分達でできる所も増えてたりするのでそういう場合はデータ分析を行う手法がありますよとか、こういうデータを入れてみたらどうですかとかそういうお話をさせて頂くことが多いです。

大同生命では様々な部署と協働してデータ分析を取組んでいます。営業の分析を始め、お客様の理解を深める分析など、様々なテーマの分析を取組んでいます。大同生命から中小企業向けに経営支援サービスを複数提案しているのですがどのサービス

を提案したら良いかみたいなのレコメンド分析にも取組んでいます。

私が最近携わったところでは生命保険に入る時に健康状態を査定する業務があるのですが、そこでAIを活用して査定担当者の支援をするといった案件を取組みました。

〔大久保〕

弊社は製造業なのでよくあるのは工場のデータを使った分析がすごく多いです。テーマとしては異常検知だったり、要因分析だったり需要予測が多いかな

と思います。最近やったところでは皆さんマッチングアプリって使ったことある方少なそうない気がするんですが弊社は製造業なので人と人のマッチングじゃないくて部品と部品をマッチングさせてうまくおしどり夫婦を作ってあげるみたいな、なるべく良い製品を作れるためにそういった取り組みなどもやっております。

〔保科〕

特に製造業では製造ロットの大きさといいいますか、そういう部分でかなりその影響が大きいようなこともあるような気はするのですが、そういう部分で規模感というか、どのぐらいの感覚で取り組んでいらっしゃるのでしょうか。

〔大久保〕

弊社は重工業なのでモノも大きければやっぱり金額も大きいですね。例えば歩留まりが95%って聞くとなんか良さそうに聞こえますが残りの5%のインパクトってものすごく何か一つの製品数千万とすると5%って一体いくらなのみたいな途方もない金額になるのでそういう大きい金額の案件に携われるというのも、個人的なやりがいがあるって楽しいなと思っております。

〔保科〕

竹村先生にお聞きしたいのですが大学でデータを活用するというのはどういうことをされているのでしょうか。

〔竹村学長〕

なかなか難しい質問かもしれない。滋賀大全体としてはデータサイエンスの案件などをやっているのですがそういう意味では外に向かって活用しているのですが、大学の中でデータサイエンスを活用できているかというところやや忸怩たるものがあるのかなと思います。しかし最近生成AIを使って簡単な分析やアンケート集計を見て大学の事務員も円グラフみたいなものは結構効率的にできるので皆さんの企業でもされていると思うのですが大学でも役に立つかと感じて

ます。

〔保科〕

今の話に関連しますと滋賀大学はこの間Chat GPT Edu（教育機関向けのChat GPT）の教育を日本で初めて導入されましたけど、あれは大学の業務の中でも活用できるものなのでしょうか？

〔竹村学長〕

はい、それも狙ってChat GPTだけでなく実はマイク

ロソフト系のもので一定のことが出来るし、使っているのですが、少しやりまじょうといった空気が出てきて事務の雰囲気も良くなってきているのでそういう意味では効率化していくかと期待しております。

現場でのデータ活用で難しいこと

現場でどういうふう

を活用しているのかということをお聞きしましたが、その上で難しいことって具体的に何かありますでしょうか。

そうですね。社員が全員賛同していないことは時々あって、そんな状況で進めるとい

が、一番難しいかなと思

っています。自分の経験として社長さんは減茶苦茶やりたくて相談に来てくれたけど、一緒に付いてきた部下の方が、今は勘と経験でうまくいっているのだから別に変える必要ないとその場で何か喧嘩し始めるようなことがあつたりします。こういう場合、上の方たちだけではなく現場の方の賛同を得られなかったらなかなか前に進まないことがあると思うので相談を受ける側として

もすごく大変だなと感じていま

【保科】

データを活用するというよりも説得する難しさというか、共感を得る難しさがあるのですね。ちなみにそういうところでもデータを活用することであるのですか。共感を得るために、という意味ですけど……

【井本】

そうですね。まず、その共感を得るためのものをやるというのもちよつとハードルは高くなるのですが、まずはすごく手軽に短いスパンで効果を感じられるものをやって、データ分析ってこんなに活用できるんだ、みたいな所を反対派の方にも実感いただくようにして進めるようにしています。

【保科】

わかりやすく刺さる分析を先に出すというような感じですね。

【上田】

生命保険は保険期間が10年以上とかなり長いので、データをしっかりと保持しておく必要があります。そのため、比較的どの部署でもデータ活用する姿勢はあると感じます。それでもデータ活用がうまくいかない理由が2点あると感じています。

一つ目はデータ活用が目的になつてしまっているという点です。さつきも言ったのですが、データ分析というのはあくまで課題解決のための手段なのでその認識がずれていると、あまりうまくいかない施策ができてしまつてしまつていることがあります。ただそこはデータサイエンスティストである我々が、課題はこういうことですよ、という調整というか認識合わせをして解決していつているところですね。

2つ目がちよつと難しいのですが、生命保険会社なのでいろいろ業務を自動化できる部分はあるのですが人間がどうしても堅実に判断して責任を持つて業務を進めていくという部分があり、AIを入れたいのですがどうしても入れられない領域があります。そこでのAIとの付き合い方みたいなところは、今ちよつと難しさを感じています。

【保科】

2つ目のものに関しては、例えば法務関係の業務なんかまさにそうですね。例えばネット上にいろんな法律情報を出している会社では弁護士に関する業務を、AIを使ってやろうとした瞬間に全てが怒られてしまつて

いうような、それでなかなかそれが出来る筈なのに進められないことはよく聞きますね。そういう部分は保険業務でもまさにそうですね。

【上田】

そうですね。さつき話していた査定の業務でお客様に査定結果をお渡しするのですが、そこを自動化しちゃうと、人間がいつどこで責任取るんだ？という問いにおつかります。現状はAIが情報を画面に表示し、それをもとに人間が判断をするといった役割分担を行っています。

【保科】

確かに最近生成AIがこの2年ぐらいいかに強力になって、人間の役割割つて何だ？みたいなこともよく議論になる中で、判断することは絶対に手放してはいけないというようなことは言われますが、まさにそれが業務の中でも大切だなということですね。

【大久保】

製造業は、データはたまりがちだと思われるかもしれないのですが例えば弊社だと多品種少量生産というところがそもそもあつたり、同じ製品でもしょつちゅう設計変更とか工程変更とかあつて、ある程度同じとみな

せるデータは実は全然なかつたりします。

弊社は結構歴史も長いのでデータはあると思つて入社したのですが本当に全然使えるものがなく苦しいところではあります。技術以外の分野では、分析結果を現場の方に説明するような場面も多いのですがその使い方については難しいというか奥が深いと感じています。

【保科】

我々はデータサイエンスの専門家としてやらせて頂いていますがやはり先方は先方で別の分野の専門家なので専門家同士高いレベルで議論をしようと思うと、何か難しいことはあえて言わないというのも一つですが、難しいことを分かりやすく伝えることが本当に必要なのだろうなと思つていてそこは自分もこれからだなというふうに日々思つているところですね。

【保科】

専門的なことをわかりやすく伝えるということについて、何か気をつけられたり何かトレーニングされたりすることはあまりまずでしょうか。

【大久保】

トレーニングというほどのことはできていないのですが、まず自分の意識改革ということが

ら始めています。

最初の頃は、先方に失礼ですが伝えてもどうせ分からないだろうみたいなところもあつて、勝手に説明を諦めていたのです。

最近では勝手に説明を諦めない、ということをしごく意識するようになりました。先方は別のことをしごくプロフェッショナルにやられている方なので、きちんと順序立てて説明すれば分かってくれることも多くそこはすごく最近意識するようになり

【保科】

モチベーションがちゃんと揃つていような相手であればやはり可能性つてありますね。竹村先生いかがでしょうか？

【竹村学長】

ちよつと感じていることは、日本はモノには価値を素直に認めるのですがサービスとか知識に関して認めるににくい所があるようです。データサイエンス関係のプロジェクトでも、モノを提供している訳ではなく基本的に知識なのでそういうところを少し客観的にお金で評価することを日本の企業の方も理解していただきたいと思います。知識の価値を客観的に評価するという雰囲気が出るのが日本に

とって大事なかなというふうに感じています。

【上田】

「ご自身がどのような人材にならなりたいか」

〈保科〉

データサイエンスを活用していく中で、どのような人材が求められているのか、今後ご自身がどのような人材にならなりたいかについてお聞かせいただければ嬉しいなと思います。

【井本】

さつきもコミュニケーションの話がありました、コミュニケーション能力は大事だと思います。

データ分析に際してデータの周知の知識はもちろん必要だと思いますがそれを伝える能力が大事だと思います。

自分はその問題解決のところにフォーカスを当てたりするので、問題を引き出す力は大きいと思っています。自分も学びながらやらせて頂いているので、その力をもっともっと大きくしていかなければいけないと思っています。

〈保科〉

目の前の人が困っていることに気づける力みたいなことですね。

今特に生成AIが普及していますが、その中で求められる人材は、「何をすべきか」、「何をしたいのか」ということを考えたいのか」ということを考えたいのかと思っています。

前半の何をすべきか、と何をしたいのかというのを、会社で教えられるのですが、何をしたいのかという、マインドというモチベーションはちよつと教えられるところもありませんし教える意味もないところがあるので、特にそこを持っていく人材が求められるのではないかなと思います。

私が今後どうしていきたいかと言いますと日本の経済をさらに発展させていくために、少しでも力になればと考えています。現在データサイエンスト協会の学生委員会というところに所属して先月も東福岡高校や中央大学を訪れ、データサイエンスを学生に教えてきました。学生の段階からデータサイエンスのレベルを高めていくことに取組んでいます。今後も日本経済の更なる発展に貢献できる人材にならなければと思っています。

〈保科〉

ちなみに、何をしたいのかを刺激することに関して、例えば高校生や大学生に教えている時に意識されていることって何かありますか。

【上田】

今、高校に「情報」という授業があるので、そこでデータサイエンスを教えているんですけど、ただ教材として教えているのかという部分のギャップが、ちよつとあるのでそこをメインに教えています。基本的にはコンビニとか学生が普段行くような所でどう使われているのか、を教えるモチベーションを刺激することを意識しています。

【大久保】

上田さんの考えに私もかなり近くて今の生成AIの台頭などがありデータサイエンスも転換期かなと思っています。そんな中で何か求められる人材像なども日に日に変わって嫌になるのですが、そういうところで変に後ろ向きにならないとか一喜一憂せずに自分がこれからどういうふうに関与できるかというのを柔軟に前向きに考えていけるようになりたいと個人的には思っています。

〈保科〉

流行りの言葉で言うところのアンブレネラーシップみたいな考え方と相性がいいのですかね。

【大久保】

そうですね、はい。そうだと思います。

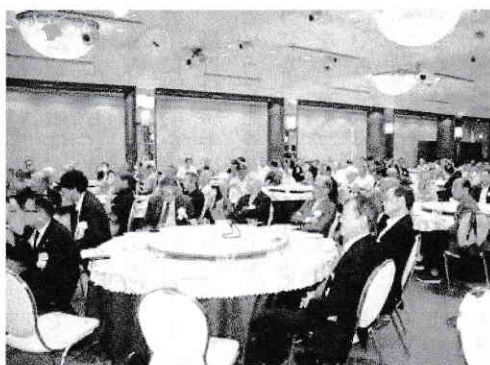
〈保科〉

最後に竹村先生、いかがでしたか。

いるし、世界も変わってトランプさんのような人が出てきたりと大変な時代なのでかなりの時間を勉強していくということが求められている。もちろん毎日の仕事も忙しいと思いますが頑張ってもらいたいなというふうに思います。

〈保科〉

ありがとうございます。本日は皆様ご登壇いただきありがとうございます。また滋賀大学ではデータサイエンス学部だけではなく経済学部も含めて社会に貢献できる人材が育っていく環境がどんどん皆様のおかげで整い始めておりますので、ぜひこれからもよろしくお願ひいたします。本日はありがとうございます。



令和七年度支部総会・懇親会を振り返って

当番幹事 天野 優(大36)

まず、令和七年度の支部総会(講演会、懇親会)を無事に開催できましたことを、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

今回、大36回が当番幹事として準備を主導させていただきましたが、開催会場との交渉がゼロから始まる波乱の幕開けとなり、また講師決定に時間を要したことで事前告知が十分にできない状況で総会を迎えることとなりました。各方面にご心配をいただきました。三年当番幹事制度により35回、37回、更に若手の会員、支部役員の皆様の協力を得て運営をすることができました。



ご来賓竹村学長のご挨拶

経済学部とデータサイエンス学部という二つの学部の卒業生を擁する同窓会として、旧友との再会や近況報告はもちろん、特に現役世代に向けた異業種交流、ビジネスチャンスの創出、在学生へのメンターシップ提供などのきっかけになる総会を指して、引き続き37回をサポートしていききたいと考えております。

令和八年度支部総会について

当番幹事 河合 克典(大37)

皆様、初めまして。私は河合克典と申します。

入学当時はさいたまから滋賀県彦根市にやって参りました。経済学部卒業の37回生です。清水哲雄先生のゼミに所属していました。クラブは体育会バドミントン部でした。

社会人として気持ちは常に10年目、テンション高く過ごして参りましたが支部総会幹事のお声がかかる年齢になりました。改めて気が引き締まる思いであります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

今年の支部総会幹事チームを代表しまして開催に向けてのご挨拶を申し上げます。

今回は令和八年七月四日(土)を予定しております。開始時刻やプログラムなどにつきまして改めてお知らせ申し上げます。

近年のデータサイエンス学部卒業生のご入会や現役学生の男女比率の変化など陵水会東京支部総会に対するご関心は徐々に変化をしております。総会・講演会・懇親会という構成でも時代変化の期待にお応えできる内容となります様に準備を進めて参ります。

私も次回の幹事チームは昨年の七月より総会に向けての準備活動を始めました。前回の総会の余韻が冷めぬうちに反省点や課題点、そして新たな取り組みとなるアイデアを共有して検討しております。

ご満足いただける内容、そして来年も継続してご参加したいと思われまます様に開催当日が盛況になることを目標にしております。ご退職の会員様からご入会一年目の若手会員様まで、そして現役学生としてご参加予定の皆様より「今年の総会は良かった」「来年は友人に声掛けし一緒に参加しよう」というご評価をいただくことを目標にしております。

総会参加をご検討中の皆様、ぜひご参加ください。まだ半年近く先の予定ではありませんが当日直前まで工夫を重ねて参る所存です。

とりわけ、ご卒業されて間もない年次の若い皆様とお仕事ご家庭の双方でご活躍中のOGの方々にご参加いただけますよう障壁を取り除くべく、幹事チームとして改善や工夫を進めております。前回に参加をお見送りなられた方々からのご意見は課題としてしっかりと傾聴させていただきます。

それでは当日のご来場を心よりお待ちしております。

令和8年度東京支部新役員

東京支部 監事

山本 真 嗣

経済学部会計学科

大学40回卒 久保田秀樹ゼミ

硬式庭球部、会計士同好会

愛知県、一宮高校

時に思い直して予備校に通い、運よく会計士の資格を得ることができ、まずは監査業務を学ぶため岐阜の監査法人八重洲事務所に入りました。その後、東京

に居を移して、税理士法人ブライスウォーターハウスクーパーズで主に外資系企業の税務、有限責任監査法人トーマツでは中堅企業の上場準備に従事したのち、楽天株式会社を経て、税理士事務所を開業しました。川崎市武蔵小杉駅近くの税理士事務所の仕事を引き継ぎ、独立して早や10年弱になります。中小企業経営者の方の悩みに耳を傾け、航空機オペリースなどの節税商品のお紹介から廃業・破産手続きの御手伝いまで、事業の栄枯盛衰様々な出来事を経験しました。

この度は東京支部監事という大役を拝命いたしました。微力ではございますが、陵水会を活性化させるため尽力する所存です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

東京支部 副幹事長

三浦 祐 督

経済学部 66回卒 宮西ゼミ

国際ボランティア学生協会、

彦根(CAS)フットサルサークル

愛知県、知立高校

い。またメールアドレスの登録をお願いします。



(支部ホームページ QR コード)



(会員情報登録 QR コード)

◆東京陵水月例懇話会

会員の皆様に気軽に集まって頂ける場として昨年8月から、東京汐留の滋賀大学コミュニティ・プレイス@東京・汐留のBASEにおいて原則毎月第3木曜日18:30〜開催しています。陵水会員であれば、どなたでも突然でも、会費2千円で参加出来ます。ぜひ、お気軽にご参加ください。



第1回月例懇話会

◆「DS」モンブランTokyo」活動

データサイエンス(以下DS)学部・研究科が卒業生向けのスキルアップとネットワーク形成を目的とした本活動は、昨年4月18日に東京汐留の滋賀大学コミュニティ・プレイス@東京・汐留KC BASEにおいて開催されたキックオフミーティング後、10月末までに計4回、彦根からDS学部の先生方や職員の皆様が上京して運営され、先生方の講話の後、懇親会が開催されています。若いDS学部卒業生のキャリア形成、人脈作り等に役立つことを意図し、第3回では、経済学部卒の大45回青木聡史氏に「人生におけるキャリア設計」というテーマの講話をお願いし、懇親を深めて頂きました。今後、経済学部卒業生との合同

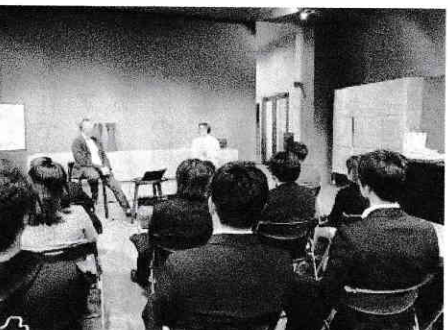


2025年4月キックオフミーティング

懇話会も開催する予定です。

◆Next Ryosui

Next Ryosuiは、現役学生と若手OBOGを繋ぐ、新しい陵水の形を追求するネットワークとして、2022年に発足いたしました。滋賀大学経済学部およびデータサイエンス学部の学生へのキャリア支援と、OBOG間のネットワーキングの場を提供しています。今年はDS学部のコミュニティ「DSコモンズ in Tokyo」が発足し、ネットワークがさらに拡大しました。メイン活動の「Study Meeting」は、昨年12月より第7回まで4回実施。直近では、(株)吟舞代表取締役の鉤逢賀さんに「芸能ビジネスへの挑戦」をテーマにご講演いただきました。



第7回 スタディミーティング

た。来年以降は、若手OBOGのさらなる交流促進のため、総会の開催も計画しております。現役生とOBOG、そしてOBOG同士の繋がりを深め、滋賀

大学全体の価値を一層高めるべく邁進いたします。皆様の温かいご支援と、各種イベントへの積極的なご参加をよろしくお願いたします。

三浦 祐督さん (大66)

(みうら ゆうすけ)

株式会社ブルータス・
コンサルティンク



「興味を持ったことに全力で

まず学生のお話をお伺いします。どんな学生生活を送っていましたか？
フットサルのサークルとインカレのボランティアサークルに入っていました。
ボランティアサークルは学校ごとに届出をして、NPOの支部のような形になっているのですが、団体自体は当時全国で4000人以上の会員がいて、国際協力や、お祭りのお手伝いをするなどの地域活性化、環境保護活動、そして災害救援などの分野でプロジェクトがありました。

向き合いそしてそれを繰り返す」その考えを大事にされてきた三浦さんは、まさにその言葉通りの行動力が学生時代から現在まで続いているようです。これまでどのような経験をされたのかお話を伺いました。

さらに滋賀大の支部では、地域でやれることもあるよねという事で、琵琶湖の清掃活動や、琵琶湖でオオバナミズキンバイという繁殖力の強い外来水草がふなずしのフナの産卵の抑制になつてしまつていて、その駆除もやっていました。許認可が必要なので団体本部や県や市と連携して活動していました。

【国際協力ボランティア、留学、インターンシップ。海外への挑戦を続けた学生時代】

情報がいろいろな所から入っ

てきて部活と授業だけでなく活動の選択肢も多かったのでしょうかね。

情報が以前よりも簡単に手に入るようになったので、学生の活動の幅は確かに多くなったのかなと思います。あとは私が入学したのが2013年なので、2年前に大震災が起きたので、ボランティアに対する学生の関心も非常に高かった時期だと思います。

―最も印象的だった活動はありますか？

カンボジアの学校建設プロジェクトですね。元々、その活動に参加することを目的に団体に入ったという経緯もありました。70名が参加する大規模なプロジェクトで、事前の募金活動から、3回生の夏には実際に現地建設活動を行いました。現地では、重たいセメントの袋や砂利、水を運んでセメントを作り、レンガ組になっている建物の壁に左官作業をしたり、仕上げのペイントをしたりと学校建設の最後の仕上げをしました。

現地の大工さんもいるので、日本語学校に通う学生も各班に入ってもらいコミュニケーションのハブになってもらっています。私の班にいたその学生は

日本語で何の不自由もなくコミュニケーションが取れて、英語もできるすごく聡明な方でした。私も当時英語の勉強を頑張っていたので、3か国語もできて羨ましいという話をした時に、「私は日本に生まれたあなたが羨ましい」と言われたことが一番心に残っています。それまで海外に活躍の場を移すような人たちを見て、もともと自国の発展に貢献すればいいのにと思っていたのですが、生まれがどこかではなく、自分ができることで社会に還元しないといけないと自分の人生観に影響を与えた経験になりました。

―海外留学もご経験されたのですよね。

3回生が終わったあと、一年休学して海外に留学、フィリピンとインドに行きました。フィリピンは語学留学でずっと学校で英語の勉強していました。授業だけで8時間あってプラス自習が2時間。ほぼ毎日10時間英語漬けになるという状況で4ヶ月過ぎました。

―インドにはインターンシップで行かれたのですよね。当時経済産業省のプログラムで有償インターンシップがあり、国内での研修の後、インド

を選択して現地のコンサルティング会社で半年程働きました。クライアントである機械メーカーや製薬会社に、途中からは会社の上司の同行なしで一人毎日訪問し、右も左も分からないながら、要改善箇所を確認してレポートする仕事でした。

インドの生活は当時あまり苦にならないかったですね。ただ、最初の1週間はインターン先の社長がベジタリアンだったので、肉を食べられなかったのがストレスでした。途中2〜3ヶ月程南インドで同僚を含むインド人5人と同じ部屋で生活していました。1人が北のインドの出身で、インドはかなり広いのでインド国内でも言語の違いで英語しか通じないし、文化的にもだいぶ違って、彼らが文化的な違いで食事中に強く言い合いをしていたのを見て、文化の違いを強く感じていました。普段の生活からそういった体験ができたのは良かったですね。

―最も興味があった授業はゼミの勉強。活かした仕事をと就職活動の軸にも―
―興味深い授業はありましたか？

一番時間割いたし、大事にしていたのはゼミでした。宮西ゼミで、財務諸表分析に基づく企業価値評価がテーマでした。米国のMBAで使うテキストを使い、プレゼンし徹底的に討論するものでした。また、宮西先生は、専門性を身につけることも大事ですが、それ以上に物事への向き合い方も含めてゼミ生にご指導してくださいだったので、後

の就職活動での面接の自信にもつながったと感じています。―就職活動はどのようなことに重点をおいていましたか？
2つの軸で就職活動をしていました。1つは、ゼミの勉強が好きだったので、ファイナンス、企業価値評価の知識を使って仕事が見たいと思っていたこと。もう1つは海外経験も頑張ってきたことだったので、グローバルに活躍できる企業がいいなと思っていました。

ゼミの先輩で、外資の投資銀行に就職された方がいて、お話を聞いていて関心があり、第一志望で選考を受けていたので、最終手前で落ちてしまいました。その後は先の2つの軸にマッチしていたこともあり商社の選考に集中していきました。そして最終的に、住友商事に内

定をいただきました。私のゼミでは商社に就職された先輩が多く、商社に挑戦する人が多かったですね。ゼミでOB会を毎年大々的に行うので、そういったタイミングで先輩から話も聞いていました。

―住友商事に入社されてどのような業務を担当されましたか？
主計部という部署に配属されました。最終的な決算発表も行う経理系の大元になるような部署です。その中の国内税務チームで、3月に期が閉まると7月末までに確定申告をするのですが、100%日本国内の連結子会社をまとめて申告するので、その業務が大きく占めています。

入社時の全員での研修後、他の同期はまだ部署の研修を受けている中で、いきなり手を動かして仕事するなど、忙しい部署でした。税務チームは会社の中の税務コンサルティング機能を持っており、事業部で上がってくる税務の問題を相談されて、気をつけるポイントなどノウハウがあるので、税法に当たりながら、問題に向かっていくという仕事がありました。

結局税務は地域ごとの課題なので、事業部別から地域別の担当に分かれて、2年目の途中からEMEA CIS（欧州、中東とアフリカなど）と豪州（オーストラリアとニュージーランド）エリアの担当になりました。現地の担当者と連携しながら、質問などの対応をするという仕事でした。

「様々な気持ちの葛藤から新たな環境へ挑む選択を」

「勉強を活かしたいという想いで商社へ入社されたわけですが、転職を考え始めたのはきっかけがあったのでしょうか？」

様々な要素や気持ちがあり、これで決めたっていうのは言い表し難いところもあるのですが、住友商事で働いている人はエリートが多くコーポレートの部署という特徴もあって東大卒とか一橋卒の人ばかりでした。全く評価されていないというわけではなかったと思いますが、例えば40歳45歳になって家族もいてというタイミングで会社や家族に何かがあって転職となった場合に、同じように安定的な収入が見込めるだろうかと不安になってしまったのです。2社

目を選んだ日本M&Aセンターは実力主義と言いますが、できたらできた分給料に反映され、出来なかつたら貰えない、給料は下がるかもしれないですが、きちんと実力に見合った給料がもらえるのであればむしろその方がいいのではないかと、自分をリセットして頑張ってみたいと考えたのは大きな理由の一つです。

また、1つ1つの事業の大きさはすごく刺激的で面白かったのですが、想像できないくらい現場が遠くに感じていました。主計部というのは間に各事業部付きの経理部がいて事業部の営業担当とほとんど直接話すこともなく、紙に書いてある数字は大きいのですが手触り感が無く、ビジネスが紙の上で起きているようで、現場感、手触り感のある仕事をしたいと感じるようになっていったのです。それで外に出るといった選択をしました。

「ゼミで学んだ企業価値評価で挑戦したいという想いを持ち続け、さらなるステップアップへ」
2社目の日本M&Aセンターではどのような業務をご担当されていましたか？
2社目はM&A仲介の会社

で、仕事の内容としては、1つは黒字であつても後継者がおらず廃業してしまう会社と、事業を伸ばしたい買い手のマッチング。もうひとつは、M&Aのクロージングまでの条件交渉を含むあらゆるサポートです。入社して1ヶ月の研修が終わったら毎日テレコールでした。1年経ち、次は売り手の会社側の業務をする部署に配属されました。証券会社に向向して、リテールの顧客であるオーナー社長などへの営業に同行し、会社の経営課題を聞きながら、「後継者がいなくて困っている」というお話があれば、M&Aによる会社の存続や成長について一緒にディスカッションをして経営判断としてM&Aを選んでもらうというような仕事をしていました。

現在、M&Aの件数はどんどん増えていて、経営者の高齢化で後継者不在という問題に対してM&Aは不可欠であると思います。一昔前はM&Aという方法をあまり知らなくて会社を閉じてしまうというケースも多かったのではないかと思うのですが、仲介の会社も増え、CMもよく見かけるようになって100%近くM&Aという手段の情報が届いているのではないかなと思いますね。

「興味のあることを追い続けた結果、今やりがいを感じる」と
3社経験されてきて、ご自身の仕事の仕方の変化を感じる

「その後、現在の会社ブルータス・コンサルティングに転職を決めたのは何かきっかけがあったのでしょうか？」
日本M&Aセンターの同期がブルータス・コンサルティングに先に転職して、企業価値評価やM&Aに関わる会社だと話を聞いたことがきっかけです。企業価値評価を行う業務という自分の得意な領域に挑戦してみたという想いから転職を選びました。

配属はファイナンシャルアドバイザーで、私の業務は大きく2つです。
1つは、TOB案件の、主に対象会社（売り手側）のアドバイザーについてデイルールを行うという業務です。もう一つは、企業価値評価です。TOB案件で株価の算定をしてそれを元に判断していくこともあります。TOBも増えていまして、東証の改革やコーポレートガバナンスの強化などの変化もあり大きく増えていますね。

「興味のあることを追い続けた結果、今やりがいを感じる」と
3社経験されてきて、ご自身の仕事の仕方の変化を感じる

「ことはありますか？」
住友商事では社会人になりたてだったということもあり言われた業務をひたすら行うという3年間でした。また、会社規模の違いは仕事内容に直結するようにも感じ、大きな組織を動かすということは大変なことだとすごく実感しました。

日本M&Aセンターでは仕事の仕方は個人に任されて自由な組織ではありましたが、結果の数字が非常に大事でしたので、数字が上がってこないというプロセスを上司と話し合いながら取り組んでいましたね。一人の時間も多く、一人で一週間四国にいるというような環境的な自由さがあったというのも面白い経験だったなと思います。

現在は、60名程の会社なので、全員顔が分かる環境で、組織としての一体感やみんなが仕事しているという感覚がこれまでに比べて強く感じますね。チームで何かを成し遂げるといことが楽しいです。税務チームで仕事していた頃は相談を受けたことを解決していくという部分的な関わり方でしたが、今はプロジェクト全体を見ながら進めていく仕事で、お客様に対してアドバイザーとしての役割を果た

せているなど感じられる瞬間も
ありやがいを感じます。具体
的な業務も、企業価値評価の仕
事はゼミで理論を学んだところ
をまさに実践していて、ゼミの
勉強も好きだったので面白さを
感じています。

—今後取り組んでみたいことは
ありますか？

TOBの案件をまずは20件ほ
どは経験したいと思っていてま
す。それぞれ特徴はありますが、
社内で難易度が高いと言われる
案件をディールマネジャーとし
て完遂したいと思います。

あとはAIの活用にも関心が
あります。もちろんFAの仕事
はコミュニケーションが重要な
仕事なので、コミュニケーション
の窓口自体は人間がやる必要
がありますが、業務の内容によ
って今まで3人で行っていた仕
事を2人でできることもあるの
ではないかと思っています。AI
をうまく使って、仕事を効率
化していく、一人当たりでき
る作業量を1.5倍、一人当たりの
売上高を1.5倍などにしていくと
いうことには、関心があります
ね。

プライベートでは最近結婚し
まして、妻とたくさん旅行や食
事ができたらいいなと思いま

す。車が好きなので都内でも不
自由なく車を持って、休日ほど
ドライブできるといいですね

—OBの後輩や今後の卒業生の
みなさんへメッセージをお願
いします！

自分に限界を設けないで、興
味を持ったことを全部全力で取
り組んでみてもらいたいなと思
います。私の場合は、勉強であ
り、海外への挑戦でしたけれど
も、それが正解だとも思ってい
ません。みなさんの興味を持っ
たことを全力で向き合ってみ
る、そしてそれを繰り返すこと
が、結果、自分の良い方に進む
のではないかなと思っています。

* * *

三浦さんは、ご自身の挑戦し
たいことをいつも明確に見つめ
て、身を置く環境を変えながら
その場でのベストな方法を実践
されてきている方なのだと思います。
まさに、「興味を持った
ことを全力で向き合い続ける」
ことを有言実行されています。
しんどい時もあつたと率直にお
話してください。一面もありまし
たが、その中でも前向きに冷静
に「全力で向き合う。そしてそ
れを繰り返す」姿勢を感じまし
た。興味を持ったこと、挑戦し
たいことに常に真摯に向き合っ

ているからこそ、その先にしっ
かり達成感がついてきているの
ではないでしょうか。今後のご
活躍も応援しています。

(梅田祐貴子)

寄稿

或る友(徳聖寮から六十八年
の死)

林 史欣(大8)

昨年の九月も末のある日、二
か月に一度ご機嫌伺いの電話を
していた同期の栗田憲司君であ
る。同君は私の知っている限り
およそ二十年独り暮らしを続け
ていた。電話に出ないのである。
留守電をいれる。しばらくたつ
ても音沙汰がない。何時もは一
時間以内には応答があつた。胸
騒ぎがした。八十六才の一人暮
らしである。すぐに最寄りの警
察に連絡を取つた。「七月末の
二、三日前に亡くなっているこ
とが分かつた」ただそれだけで
ある。

大学構内にあつた徳聖寮に入
寮したのは一九五六年四月の上
旬だった。六畳二人部屋、中寮
十八号室。同居人は坊主頭の高
校生姿のまま。栗田(旧姓川合)
憲司君だった。当方浪人二年生、

法人税・所得税・相続税・消費税 コンサルティング及び申告

林田公認会計士事務所

公認会計士 林田幸親 (大26回済)
税理士 (院6回営)

〒352-8108 長崎市川口町6番24号 サイモンビル

TEL (095)848-0678 FAX(095)848-0655



しつかりしなきやと覚悟した。折り目正しく机、押し入れの扱いはきちんとしていた。名古屋弁が新鮮だった。実家が良ききちんと育てられてきたんだ、そう羨望を感じた。浪人暮らしで野放図に気の散るままに生活をしてきた自分の手本になった。

寮生活が板についたころから、互いの個人情報を交換しあった。年上の私はそれらしく自分のことを気軽に話した。ところが彼の口は重かった。入寮時、彦根に付いてきてくれた老夫婦は親ではないと言う。父親は生まれで間もなく母と離婚、住所

不案内、母はそれから数年のうちに結核で亡くなった。それだけ語った。個人情報を知るのが好きな私も気の毒な、感傷的な気持ちになりそれ以上の細かいことを聞けなかった。

寮生活の一年で終生の友人を得た。隣の十九号室三浦功並君、二十号の刀禰館信雄君、西寮一号の高崎讓君、川本喜久雄君。そしてそれぞれにつながる下宿生、大橋尚起君、井上直樹君、近藤茂一君。自分を含め九人で卒業後三年目に「七夕会」を結成、毎年一回旅行会を開催することになった。以後コロナ発生の二〇二〇年まで五十六回の開催だった。「七夕会」と銘打ったのが栗田君だった。同君の手で記録用のノートも備えるようにした。

二回生になって下宿生活が始まった。栗田君は湖畔に近い城町に、私は彦根駅に近い三筋町に。下校の際に、休日には自転車、互いに宿を訪ね議論を持ち込んでよく話した。近経かマル経か、社会党右派と左派の相違は、それぞれ支持する理論の違いは、母校の現在と未来など多岐にわたった。

長野市の我が実家を訪ねてきてくれて善光寺に案内したり、

名古屋の同君の実家に誘われ、お城や広小路を案内してもらった。御互に勤め先を定年で退職してから、私の会社の仲間の旅に加わって貰い、信州の観光地を旅したこともあった。

同君は自宅を購入するにあたり、遠縁の親族に当たる方の籍に入り同居「栗田」に改姓した。購入した新居を訪ねたことがある。義理とは思えないような親族関係がそこにあった。十数年の同居の義母が亡くなり、孤獨な一人生活が始まった。「日本の政治は田舎社会そのままで成り立っている」「日本人は戦争を自然災害の様に受け止め、深刻さがない」。この同君の考えをベースに、電話や手紙で二か月に一度くらい、家人から「よくそんなに話があるんだね」と言われる程話し合った。

ある年、我が家を訪ねてくれた。「鎌倉に行きたい」と。そして一泊していった。次女がとにかく名古屋弁が楽しかった、話す姿がまた不思議だったと言

いた。平成三十年十二月妻と次女夫婦で名古屋に老いを労わっていた叔父を見舞い、その足で栗田君を訪ねた。その夜家族ともども同君とさやかな宴を開き

久闊を叙した。思えばこれが最後の友情交歓の場だった。

友情を六十五年と重ねてきた親友の突然の死である。所管の警察署に状況を確認しようと電話を続けた。「亡くなったのが見つかったのは七月末としか言えない、詳細は知立市役所へ聞いてほしい」と言う。同市役所へ前述の深い友情関係のあったことを伝え、死亡の状況を聞いたが詳しいことは教えられない。一点張り。マイナンバーのコピーを添付し、上記の友情関係を文書にして回答をもとめた。市役所から下記のような返信(要点)である。

「死亡時の日時…戸籍届書の記載事故証明書にて確認できます。請求できる方は利害関係人(届出事件本人、届出事件本人の親族または届け人のいずれかに該当すること)であって、かつ特別の事由(例…法令により記載事項証明書の添付が義務付けられている場合、官公署などから提出を求められている場合など)がある場合に限りません。」

当方も老化現象を抱え、この回答を何としていいものか。途方に暮れたまま、栗田君に対し申し訳なきいっばいで、悲しん

で冥福を祈るばかりとなった。偲聖寮のたった一年の同室だったことが終生の絆を造った。貴重な人間関係の宝と思い大切に抱いている。

赤こんにやく
吉田 勇夫(大15回)
織田信長に由来するという赤こんにやくを令和5年7月陵水ラグークラブ100周年記念総会に彦根を訪問したときに、ラギー仲間とキャッスルロードにて購入しました。清水商店『赤こんにやく近江八幡名物』(定価200円)と書いてあります。確かに色は赤いのですが食べてみると普通の味でした。

この赤こんにやくは織田信長に由来すると云われています。派手好きな信長は、近江八幡の五穀豊穡を祈って行われる「左義長まつり」で赤い長襦袢を身にまとって踊り出し、祭りを大いに盛り上げたという。それ以来、この祭りでは町の若者たちが女装して山車を担ぐ奇祭が始まったとされています。

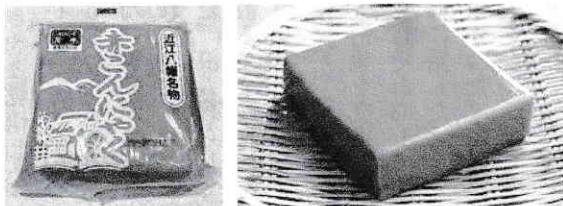
また、この祭りでは炎を象徴する赤紙で山車を飾る、この赤紙にちなんでこんにやくを赤く染めるようになったと言われている。

います。別の説では、派手好み

の信長が特に赤色を好んだことから、こんにやくも赤く染めたと
言われています。いずれにせよ赤
こんにやくは信長の派手好きと無
関係ではないのです。

赤こんにやくというが、特別な
こんにやくが有るわけではあり
ません。伊吹山麓で産出される
「三酸化鉄」があります。三酸化
鉄は「ベンガラ」と呼ばれ、建
物の朱色の染色に用いられた。
赤こんにやくはこの三酸化鉄で赤
く染められています。(作り方・
三酸化鉄を
お湯で溶き50分〜60分攪拌し
て作ります)

この奇祭は近江八幡市日牟礼
八幡宮で毎年2月の最終の土・日
曜日に開催され、踊り子が女装
してその年にちなんだ山車を作
って炎を象徴する無数の赤紙を飾
り歩きます。ごちそうとして赤
こんに



湖国だより

植野 克美 (大2)

滋賀県には、京都の祇園祭に並ぶ「曳山祭り」が数多く存在し、それぞれが独自の文化や歴史を持っていきます。これらの祭りは、豪華絢爛な曳山と、そこで練り上げられる伝統的な芸能が大きな特徴です。

1. 長浜曳山祭

(ながはまひきやまつり)...

長浜八幡宮(長浜市)

京都の祇園祭、高山の高山祭と並ぶ「日本三大山車祭」の一つに数えられ、ユネスコ無形文化遺産(世界無形文化遺産)に重
要無形民俗文化財に指定されて
いる33件の日本の祭り行事が一
括登録にも登録されています。
毎年4月9日〜17日の間、長浜
の町中を舞台に多彩な行事が行
われ、祭りを行う山組や祭りを
見物する市民や観光に来られた
方など多くの人々を魅了します。
曳山は13基あり、太刀渡りの
太刀を飾る長刀山と、子ども狂
言が行われる四畳半の舞台を備
えた12基の曳山があり、毎年4
基ずつ交代で巡行します。
5歳から12歳くらいの男の子
が曳山の上で本格的な歌舞伎を



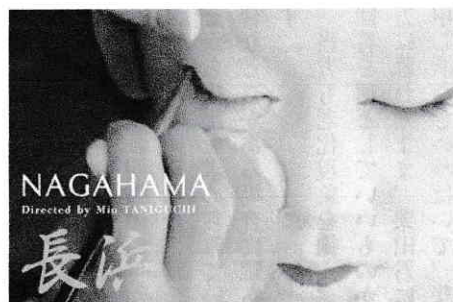
長浜祭子供歌舞伎

演じます。この子ども歌舞伎は、

地元の子どもたちが厳しい稽古を経て舞台に立つことで、地域の誇りと伝統が次世代へと受け継がれています。義太夫節と三味線の伴奏に合わせてセリフを語る様子は、まるで人形浄瑠璃のような独特の芸能スタイルです。

曳山は、江戸時代の伝統工芸の粋を集めて作られており、精緻な彫刻、豪華な飾り金具、中国やベルギーの織物などが施され、「動く美術館」とも称されます。

長浜城主であった羽柴秀吉が長浜城を築いた際、男子誕生を祝って町民に砂金を与え、それ



長浜祭子供歌舞伎を題材に、昨年12月完成した映画『長浜』のポスター写真

を元手に町民が曳山を造ったのが始まりとされています。

2. 大津祭(おおつまつり)...

天孫神社(大津市)

「湖国三大祭」の一つで、国の重要無形民俗文化財に指定されています。13基の曳山すべてに、精巧なからくり人形が乗っているのが大きな特徴です。毎年9月16日の「くじ取り式」から始まり、10月に「山建て」「宵宮」「本祭」が開催されます。お囃子に合わせて人形が動く様子は、見物客を魅了します。

江戸時代初期に、鍛冶屋町の塩売治兵衛が狸の面をかぶって踊ったのが始まりとされ、京都の祇園会を彷彿とさせる優美な巡行が発展しました。祇園祭と同じく「コンコンチキチン」のお囃子が鳴り響きます。

お囃子が鳴り響きます。

3. 日野祭(ひのまつり)...

馬見岡綿向神社(うまみおかわたむきじんじや)日野町)

850年以上の歴史を持つ、馬見岡綿向神社の春の例祭です。毎年5月2日(宵祭)、3日(本祭)と開催されます。16基の曳山があり、今年14基が出て8つの大字にまたがる広域で祭りが執り行われました。

宵祭では、提灯を灯した曳山が夜遅くまで町内を巡行し、祭り気分を盛り上げます。本祭では、曳山と3基の神輿が町を練り歩きます。

渡御行列や曳山巡行の道筋にある民家の壁には「棧敷窓」とよばれる開閉式の窓があり、ふだんは閉じられています。日野祭の際にはこれを開き、庭に



日野祭り

棧敷を組んで敷地の中から日野祭を鑑賞することができます。

4. その他滋賀県の主な曳山祭り

・水口曳山祭

(みなくちひきやまつり)...

水口神社(甲賀市)

曳山の数は滋賀県最多の16基を誇ります。毎年4月19日(宵宮)から20日(例大祭・曳山巡行)に行われます。今年は8基

といつもより多く出ました。各町が毎年趣向を凝らした「ダシ」(作り物)を曳山に飾り付け、その出来栄を競い合います。アップテンポでリズムカルな「水口ばやし」が特徴です。

・米原曳山祭

(まいばらひきやまつり)...

湯谷神社(米原市)

長浜曳山祭を見習って始まったとされる祭りです。毎年、スポーツの日を含む10月の3連休に実施され3基の曳山で子ども歌舞伎が演じられ、宵宮の夜には提灯に照らされた曳山が急な坂道を登る「登り山」が見どころです。

・大溝祭(おおみぞまつり)...

日吉神社(高島市)

提灯を灯した曳山が城下町を幻想的に練り歩きます。現在は、5月3日が宵宮祭、4日が本祭、

5日が後宴祭5基の曳山が登場し、豪華な幕や装飾が特徴です。

滋賀県には、長らく続く由緒のあるお祭りが多くあります。日本の中央部に位置し、京都と

も近接していたことなどから伝統文化が色濃く残っている地域と言えるでしょう。

思いをつくまま、自由にメッセージ！

幅広い年代の皆様が気楽に紙面を通して交流をはかれるよう、シヨートからちよつとロングなメッセージを届けて頂きました。

自転車で遠乗り

酒井 通夫(大8)

八〇代後半になって、野山ハイクもできず一日中テレビの前に座っている日が多い。そこで運動不足解消の為、自転車で遠乗りを精を出している。行く先は藤沢の辻堂海岸。辻堂海岸はあの「浜辺の歌」の作詞地で、左に江の島、右に富士がそびえ、箱根の山々や天城山、伊豆大島も見え、四季いつでも眺めあきることはない。

辻堂西海岸汐見台まで片道約十五キロ、所定時間往復約三時間。コースの大半は境川や引地川沿いの自転車道で、四季折々の花もあり景色も良い。五年ほど前、電動アシスト付にしたので風が少々きつなくても楽に乗れるようになり、出動回数が増え今では週

2〜3回、月10回のペースである。(但し夏季は夕暮れ前に、コース短縮して走っている。)

改修成った重要文化財の講堂は美しく輝いて、厳かな雰囲気での式典を迎えました。この講堂での式典冒頭の学歌は、六十余年前の卒業式以来で、感慨深いものでした。最も印象深い思い出は、この時百歳であった裏千家大匠・千玄室氏の特別講演でした。

「彦根高商創立百周年記念式典」の思い出

吉田 弘(大9)

令和五年十一月四日、滋賀大学講堂で「彦根高商創立百周年記念式典」が行われました。

「今の心」と題する講演は、戦前・戦後を力強く生き抜いた壮絶な迫力でした。彦根高商百年を記念するに最もふさわしい記念講演でした。その大匠が、去る八月十四日、百二歳で逝去されました。ご冥福を祈ります。

在学中、グリーククラブに所属していたご縁で、式典のために組織された「陵水男声合唱団」に東京から参加し、滋賀大学学歌、彦根高商校歌を約四十名で演奏する機会ができました。東京OB会でも練習会を重ねました。

この頃思うこと

射場 茂喜(大21)

大学を卒業して早や52年になります。最近、自分が菓

を飲んだのか、メガネをどこに置いたのか、昨日何を食べたのか、といった事を忘れる事はあっても、大学時代の事や陵水会との関わりは、今でも鮮明に覚えています。この場をお借りして学生時代や陵水会で培った経験・ご縁を振り返りながら、現在との違いに思いを馳せてみたいと思います。

まず、大学時代の思い出ですが、1969年3月中旬の大学入試の日は前夜からの雪で朝には止んだものの、雪道の中、彦根城を見ながら、何となく桜田門外で倒れた井伊直弼を思い出しながら、大学に向かいました。

無事、入学試験に合格し、ポート部にも入部し、偲聖寮・下宿先↓大学↓艇庫・合宿所、市内の飯屋を自転車で行復する4年間でしたが、携帯電話もインターネットもない時代で、対面や固定電話で連絡を取り合い、学費も確か月1,000円、その後値上げされて月3,000円、アルバイトの時給が100円、下宿代が月2〜3,000円の時代でした。お金が尽きると、パチンコで稼いだわずか

な金でラーメンをすすする日も
ありました。

1969年秋には他の大学
より遅れて滋賀大にも学園紛
争の嵐が吹き荒れ、校門の前
にバリケードが築かれたため
に大学構内に入らず、彦根市
内のお寺の法堂を借りて、ま
さに寺子屋授業が開かれまし
た。当時、全共闘系の「世の
中を革命で変えるのだ」とい
うスローガンには今ひとつ同
調出来ず、彼らが結局、涼し
い顔で民間企業に就職してい
く姿を見て興醒めしてしま
いました。

大学を卒業してからは、三
菱商事に就職し、インドやタ
イに駐在し、50カ国以上の
国々を訪れながら見識を積む
につれ、ボート部で鍛えた体
力・精神力、陵水会で繋がっ
たご縁、体育会委員長として
の経験が大いに役立ち、辛い
時の心の支えになりました。
今振り返ってみてもとても有
難く感謝に絶えません。
今回は、そういった陵水会
とのご縁について書いてみた
と思います。

振り返り思うこと

岩田 雄一 (大32)

思えば私の人生は、常に「ち
よつと背伸びして挑む」こと
で彩られてきた気がします。

一九八〇年に入学し、未經
験者でも大会に出場できると
いう誘いから練習の厳しさを
知らず噂の漕艇部に飛び込み
ました。水面を切るオールの
重みと、先輩方の叱咤の響き
に耐えた日々は、体力のみな
らず精神力の背骨を築いてく
れました。おかげで社会に出
てからの荒波も、少々の浪風
では動じません。

八四年、銀行全盛の時代に
あえてNECを選んだのも、
PCへの好奇心から。金融営
業の世界で培った人脈は、定
年後の新たな挑戦に橋を架け
てくれ、二〇二二年には平均
年齢三〇前半の若き活気に溢
れた株式会社HIFTへ転職。A
I活用でのビジネスやIT変
革で新たな領域に挑む日々
再び胸を躍らせています。
そして今年八月、富士山に
初登頂。酸素の薄さに苦笑し
つつ、ご来光の荘厳さに心震
えました。どうやら挑戦の先
には必ず報われる光景が待つ

ているようです。次なる一步
はどこへ続くのか、私自身も
楽しみにしています。

丸坊主から始まる次の一步

島津 泰幸 (大34)

ノスタルジー感満載で独り
よがりの文章になることをお
許し頂き、大学時代に私が得
た人生を歩む上での指針とな
っているものを書かせて頂
きます。

彦根で過ごした大学生生活を
振り返ると、私の青春はまさ
に体育会バドミントン部とと
もにあったと思います。自慢
ではありませんが、勉強は二
の次で、いかに自らの力量を
上げるとともにチーム力アッ
プを図り、試合で勝利するか
に全力を注ぎ、練習が生活の
中心を占める日々でした。

そんな中でも忘れられない
のは、当時のしきたりである
「大学の名前を背負う大事な
試合に負ければ幹部全員が丸
坊主」という掟です。古臭さ
と理不尽さを感じつつも、妙
な一体感と不思議な清々しさ
を覚えたものです。

実は、就職活動の時期直前
の春のリーグ戦でチームは降
格し、幹部であった掟に従い

丸坊主の髪型になっており、
就職面接を受ける他の学生と
比べると一種異様ないでたち
で面接を受けることになって
いました。ところが、想定外
に殆どの集団面接の場で面接
官からは「どうしたの？さっ
ぱりしていて印象がいいね！」
というような声をかけられ、
一番に発言する機会を得て就
職活動の観点からは逆にプラ
スになったことは今でも思い
出すと笑ってしまいます。

社会に出てからは、責任の
取り方が時代とともに変遷し
複雑化していることを痛感し
ます。体育会気質には賛否両
論があり、今となっては時代
遅れの発想と受け止められる
かもしれません。しかし、自
らの生き方を顧みると、若手
だったころの日々、社会人と
してある程度熟成した時期を
問わず、あの理不尽で清々し
い掟(考え方・精神)は、仕
事に関しての自らの責任を明
確にして次の一步を踏み出す
リセットを行う上での後押し
になっていたような気がしま
す。

きっと自分の子供たち含め
若い世代の方々には理解しづ
らい独りよがりの思い入れだ

ろうなどは自認しつつ、彦根
で過ごした大学時代に染みつ
いたこの価値観は容易には捨
てがたく、これからの人生を
歩む上でも私の大事な指針の
一つであり続けると確信して
います。



東京陵水ゴルフ会

(第137回〜第140回)

東京陵水ゴルフ会コンペを令
和7年も3月、5月、9月、11
月に計4回開催しました。

本年からは2回は茨城・金乃
台カントリークラブで残り2回
は新たに埼玉・Jゴルフ鶴ヶ島
で開催しました。いずれの大会
も天候に恵まれて、楽しい同窓
のゴルフの集いとなりました。
参加いただいた皆様、ありがと
うございました。1年を通じ、
定期的集まり、ゴルフプレイ
を通じて、お互いの健在を喜び、
親交を深められ、有意義なひと
時を過ごす事ができました。特
に本年は緒方支部長のご尽力も
あり、新規参加者が4名となり、
例年以上に活況となりました。
大会結果としては、大23卒生

寺は日口戦争の海軍の英雄東郷平八郎氏の別邸だったところ。域内には嘗ての田舎道と水辺を整理した遊歩道が幾つもつくられた。是政駅から広く開けた多摩川堰堤路に出て富士山を遠望する。郷土の森公園は大きく広がる森と水と花園の広場。その一角を梅園が占めている。未だ七分咲き程度の花々は初々しく清廉に我らを迎えた。

バスで分倍河原へ。そして京王線で府中に出て憩った。

参加者六人
●令和七年三月二十七日(木)
「駒場公園から玉川上水を辿る」
コース・東大駒場駅→駒場公園→東大先端科学技研センター→東京ジャーミー→JICA東京→玉川上水歩道→新宿駅西口

桜花爛漫、さわさわと落ちる花びらを優しく受けて歩こう。駒場公園内の旧前田侯爵邸の中はきちんと整備され、イギリス貴族邸を思わせる豪華な素晴らしい雰囲気。科研センターの一角で桜花を受けて一寸の時間花見酒。軽い酔いに歩きを任せ東京唯一のイスラム教会に入る。礼拝堂の華麗な内部に目がくぎ付け。ジャイカの付近は歩道一杯に桜花が舞う。新宿までの桜並木は延々と。夕方の新宿駅西

口前の人群れに溶け込む。参加者七人
●令和七年五月二十七日(二十八日)
「上信越高原国立公園・霧積温泉に新緑と源泉温泉を求めて」

当散歩会年一回の旅行事。高原に豊かな新緑と源泉温泉を求めて出かけた。集合は大宮駅。信越線の横川駅で下車。「峠の釜めし」で昼を摂る。迎えに来た宿「霧積温泉・金湯館」のマイクロバスで新緑の隙間なく茂った山路を行く。路の即下には谷川の水が清冽な流れを作っていた。宿は森村誠一の小説「人間の証明」にも登場しており、

歴史上の有名な人が多く訪れていた。清冽な山の空気を十分に味わい、三十八度の源泉にゆっくり浸り、山菜、川魚の沢山の料理を楽しんだ。

翌日は午前十時に宿を出て廃線になった旧信越本線跡の遊歩道公園「アプトの通」の「めがね橋」迄宿の車で案内してもらった。この地点から横川駅まで約五キロを歩いた。トンネルを五つ潜り、鉄橋を渡り、どっしりとしたただずまいを遺すレンガ造りの変電所を覗いたり。山はあくまで緑に包まれ、風は健やかに体を慰める。時には猿の迎えも受けた。午後一時過ぎの列車で横河を発ち高崎駅構内で打ち上げ。新宿駅で解散となった。



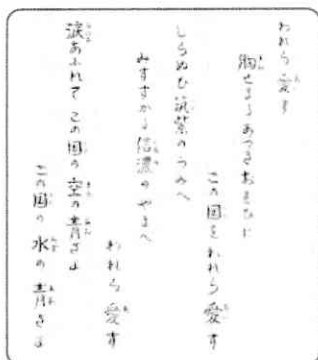
参加者六人

☆今期の参加者
富永義孝(大7)、林史欣(大8)、宮野幸雄(大12)、平居俊雄(大12)、天木國夫(大14)、羽淵展世(大14)、渡辺雅利(大16)、能島伸夫(大22)、堀内裕(大23)、聲止泰子(特)

令和七年 詩吟の会

和 田 博之(大19)

詩吟の題材は主として中国・唐の時代を中心に漢詩、律詩等を取り上げますが日本の漢詩、俳句、短歌、新体詩もよく吟じます。その中でこれまで練習した吟の中から印象に残った作品を紹介したいと思います。



「われら愛す」は新体詩で、第二次世界大戦後の1953年(昭和28年) 壽屋(サントリー)の前身、現在のサントリーホールディングス)社長である佐治敬三が中心となって呼びかけ公募し、君が代に代わる国民歌とすべく作られた曲。芳賀秀次郎の作詞、作曲は西崎嘉太郎、編曲は高浪晋一/山田耕柞。

敗戦間もない一時期、失意と混乱の中で「君が代」に代わる新しい時代にあふわしい自分たちの国歌をつくらうという大きな国民運動があった。憲法で高らかにうたい上げた主権在民、平和、民主主義。その精神を汲み、民衆の中から自然にわき上がるそんな自分たちの国歌ができないか。

全国的に実には五万点を超す応募があり、1953年(昭和28年)10月、東京日比谷公会堂で新国民歌(国歌)制定の発表会が行われた。

西条八十、三好達治といった錚々たる人々が審査員となり新国民歌「われら愛す」が誕生した。心を洗われるような美しい旋律にのせて歌は全国に広がっていった。

【作者】
芳賀秀次郎(はがひでじろう)
1915年(大正4年1月1日)〜1993年(平成5年5月9日)78才歿。日本の教育者、詩人、歌人。



作詞した頃の芳賀秀次郎

山形県白鷹町横田尻に生まれる。1935年山形師範学校(現・山形大学地域教育文化学部)卒業後、山形大教育学部附属小学校、山形南高、上山高での勤務を経て、長井高校長を務める。退職後、日大山形高校に移り教鞭を執った。アララギ派の歌人として出発

し、1934年(昭和9年)、日本文化中央連盟が公募した国民歌に「大日本の歌」が一位入賞。戦後は、戦中の反省から短歌を捨て詩作におもむく。1953年(昭和28年)に、壽屋主催で公募された新国民歌で応募した「われら愛す」が一位で入選する。

それ以外にも、服部公一が作曲を手掛けた女声合唱組曲「紅花抄」や、県内の50を超える学校の校歌、山形銀行やヤマザワ(山形・宮城・秋田のスーパーマーケット)の歌などの作詞も手掛けた。

・山形県詩賞(1972年)、
・斎藤茂吉文化賞(1984年)

【語釈】

★しらぬひ筑紫のうみべ…「しらぬひ」＝「筑紫」にかかる枕詞。但し「しらぬひ」の語義および「筑紫(つくし)」にかかる理由には諸説ある。

★みすずかる信濃のやまべ…「みすずかる」＝「信濃」にかかる枕詞。「みすず」はスタケ(篠竹)のこと。

・万葉集の『み薦刈る信濃の真弓吾が引かば、うま人さびて否と言はむかも(久米禅師)』
『み薦刈る信濃の真弓引かすして、弦著くるわざを知ると

言はなく(石川朗女)』

・この二首にある「み薦」を、江戸時代の国学者の荷田春滿(かだのあずままる)と賀茂真淵が「みすず」と読んだことから、江戸時代以降広く「みすずかる」が信濃の国の枕詞として定着した。

・昭和中期に国文学者の武田祐吉が「み薦」を「みすず」と読むのは誤読であり「みこも」と読むのが正しいと提唱し、現在では「みこもかる」の読みが学術的には通説となっている。しかし、「みすずかる」には古風な美しい響きがあり、万葉の時代を想起させるにふさわしいため、信濃の国の枕詞として現在でも親しまれ続けている。

【鑑賞】

ケーナ奏者、作詞家
八木倫明(山形県長井高校OB)
より引用

・《君が代》に代わり国歌になったかもしれない歌で「幻の国歌」と呼ぶ人もいる。なぜこの歌詞が5万種類もの応募作品の中から一位に選ばれたのか?

世界の民謡や愛唱歌は、ほぼ例外なく絶望から生まれた歌であるがゆえに歌詞にもメ

ロデイにも力があります。

・作品そのものが特別な力を持つているので商業的なバックアップとは無関係にロングヒットしてきた歌です。作詞作曲した人の人気・知名度に関係なく、歌そのものの力によって100年、200年と歌い継がれてきたものです。

なぜ作者不詳の歌であつても歌そのものに力があるのか?それは絶望の中から生まれた歌だからです。

・芳賀秀次郎作詞の「われら愛す」がなぜ敗戦後8年目、米国の統治から曲がりなりにも独立して一年後の1953年、国民歌コンクールの作詞部門で5万通以上の応募から一位に選ばれたのか?

・歌い継がれる本当の名歌は絶望から生まれる、という説で解説すると「われら愛す」も絶望の中から生まれたからです。そのことが歌詞にはつきりと現れています。

・「悲しみが深いからこそわたしたちは歌う」という2番の唄い出しこそが戦争の絶望から生まれた歌詞である証明なのです。
・戦争中には軍国教育に何の疑問も持たずに国策に協力した

自分の教育者としての生き方を痛烈に自己批判した稀有の詩人。教え子たちを戦地に送つてしまった悲しみと苦しみ。

自分だけの責任ではないとしても、そのとき何の疑問もなく軍国教師をしていた自分への絶望感。そんな心がないとこの歌詞は生まれません。筆舌に尽くしがたい絶望感を削ぎ落として簡潔にして詩として紡ぎ出す言葉は、その人そのものなのです。

【歌詞】全文

1. われら愛す

胸せまるあつきおもひに
この国をわれら愛す
しらぬひ筑紫のうみべ
みすずかる信濃のやまべ
われら愛す

涙あふれて

この国の空の青さよ
この国の水の青さよ

2. われら歌ふ

かなしみのふかければこそ
この国のとほき青春
詩ありき雲白かりき
愛ありきひと直かりき
われら歌ふ

をさなごのごと
この国のたかきロマンを
この国のひとのまことを

3. われら進む

かがやける明日を信じて
たぢろがず
われら進む
空に満つ平和の祈り
地にひびく自由の誓ひ
われら進むかたくうでくみ
日本のきよき未来よ
かぐわしき夜明けの風よ

東京陵水 文芸

俳句

能島 伸夫(大22)

「去年今年ボレロのことく歩ずつ」

〈新年・去年今年〉

フランスの印象派音楽を代表する音楽家モーリス・ラベルの楽曲「ボレロ」からの連想の俳句です。この曲は小太鼓が冒頭から絶え間なく刻み続けるボレロのリズムが気持ちよく、明日への着実なステップを意識させる旋律に感じました。

「鳥雲に母校百年乗り越えて」

〈春・鳥雲に〉

彦根高商創立百周年記念事業は一昨年に終了しました。これまでに数々の労苦があったこと

だろうと想像します。母校滋賀大学が次の百年へ向って、一層の飛躍発展を願うばかりです。

「ゴールキーパー炎天背負ひ今一人」

〔夏・炎天〕

中学三年の孫のサッカー試合を観戦しました。当日は真夏の太陽が照りつけるとても暑い日でした。そんな中、実力差があったのでしようか、強者のチームのゴールキーパーはカンカン照りの中、一人ゴールを守っていました。

「吟友逝く夕べを啼きて法師蟬」

〔秋・法師蟬〕

陵水会東京の詩吟の会で大変お世話になった先輩が亡くなられました。奥様のお世話で一時その詩吟の会を休会されたところばかりおもっていたので、ご本人の逝去の報に接して残念でなりません。

夕暮れ時、法師蟬が鳴いていました。

「呼び込みの声を往来や年の市」

〔冬・年の市〕

昨年暮れ、アメ横へ行った時に元気のいい呼び込みの声に連れて行ったり来たり。

物価高の中でも、大安売りの

物品もあり年末の賑わいを見せていました。

短歌 「戦後八十年」

林 史欣 (大8)

戦火あり原爆の惨あり幼き日の駭しに堅く反戦の心

いかほどに事情理由を語れども侵略の責は表には出ず

民主主義政党政治を学びしも情に棹さして流れたる国

20世紀の経済こそが21世紀の宿痾をもたらず因とならむか

漢詩

田川 行雄 (大9)

與妻春旅懐

(妻との春旅の懐い)

東風嫋嫋暖初生

東風嫋嫋として暖初めて生じ

春色漸濃芳草萌

春色 漸く濃く芳草萌ゆ

伉儷周遊千里旅

伉儷周遊す千里の旅

阿州黄備遠山晴

阿州黄備遠山晴る

【語釈】嫋嫋 風のそよぐ様子

伉儷 夫婦

阿州 阿波の国

黄備 吉備の国

【背景】結婚六十周年の春となり、今まであまり訪れ無かった

四国地方の旅を計画しました。天候にも恵まれ、この地の自然や歴史を目の辺りにして思い出深い旅となりました。その時感じた事の端を詠んでみました。
(平起式・庚韻 七言絶句)

絵画

島根県中国山地

大井谷の棚田風景

F20号 油彩

滋野 輝彦 (大17)

これは絵画教室にて棚田の写真を見つけ、その美しさを油彩画にして残したいと思い取組みました。



原地は中国山地の奥深い所ですが、ほのぼのと浮かぶ心の中の原風景でもあります。地元の農家の方々が山を開き、谷を埋め、お米のための水田を作るため水を引き、一枚一枚の田を丹精込めて作り上げたものです。絵の題材自体が地元で生きる人々のドラマです。

編集室 所感

『東京陵水』第百十三号は、皆さまからの温かいご協力のもと、無事発行することができました。

卒業して幾星霜、母校への思いや同窓生との絆は今も強く、皆さまからの投稿の一つひとつに感慨を抱きました。会報取材を通じて、同窓生の

皆さまが活躍されている様をうかがうことが出来、大いに刺激を受けました。これからも、世代を越え相互の交流を深める場としての『東京陵水』が皆さまの拠り所となれば幸いです。

次号の投稿につきましても、皆さまの近況や思い出など、気軽にお寄せいただければ大変有り難いです。

末筆ながら、みなさまのご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。

今後とも皆さまのご支援をよろしく。

(植野)



絵画は左のQRコードからフルカラーでご覧いただけます。

令和7年度 東京支部年会費ご納付ありがとうございました。

令和7年12月1日現在

赤大	柳	富	鈴	浦	大	藤	橋	中	田	草	川	河	大	大	樋	中	中	神	岡	飯	大	箸	大	西	中	大	永	本	前	本	箕	本	
田	原	永	木	谷	大	原	本	村	中	生	村	合	大	大	上	西	川	谷	田	島	大	方	大	尾	川	大	野	本	川	本	箕	本	
堅	弘	孝	成	夫	大	多	長	博	一	知	和	正	義	功	一	三	亨	義	勲	三	信	次	一	隆	彌	之	正	正	正	正	正	正	
西小	朝	大	宮	堀	平	田	守	稲	大	関	各	大	山	細	服	島	中	坪	白	大	吉	森	藤	平	田	大	松	林	瀧	酒	尾	池	
藤林	比	13	野	川	居	村	谷	邑	大	務	11	田	谷	部	山	川	田	井	大	田	吉	本	本	本	武	行	大	岡	川	井	本	田	
和	三	冬	幸	幸	俊	寿	貞	明	恵	文	健	進	隆	孝	生	一	六	健	弘	德	忠	裕	一	明	雄	健	欣	史	雅	通	政	弘	
弘	郎	雄	雄	夫	雄	夫	夫	也	文	健	進	隆	孝	生	一	六	健	弘	德	忠	裕	一	明	雄	健	欣	史	雅	通	政	弘	弘	
滋栗	蔵	川	岡	池	大	渡	堀	嶋	木	大	吉	山	細	藤	富	柘	黒	奥	海	大	古	羽	中	田	古	北	加	天	大	若	吉	納	
野林	田	崎	本	ヶ	17	邊	場	多	津	大	田	本	江	井	田	野	田	村	老	大	川	羽	中	田	古	北	加	天	大	若	吉	納	
輝昭	昭	憲	和	吉	大	利	夫	優	治	夫	保	夫	治	司	樹	洋	洋	洋	洋	大	司	世	弘	春	郎	徹	善	夫	忠	久	秀	樹	
寺竹	芝	小	門	小	伊	大	和	山	松	林	丹	西	永	中	柴	岡	大	西	徳	千	小	兼	岡	今	大	山	前	西	並	中	柘	柴	
井森	田	山	平	野	藤	大	和	山	野	松	林	丹	西	永	中	柴	岡	大	西	徳	千	小	兼	岡	今	大	山	前	西	並	中	柘	柴
与二	隆	久	孝	孝	博	大	和	山	野	松	林	丹	西	永	中	柴	岡	大	西	徳	千	小	兼	岡	今	大	山	前	西	並	中	柘	柴
利郎	行	照	二	史	邦	大	和	山	野	松	林	丹	西	永	中	柴	岡	大	西	徳	千	小	兼	岡	今	大	山	前	西	並	中	柘	柴
山能	鳥	北	大	脇	米	山	飯	大	森	細	植	射	大	堀	浜	上	植	上	大	持	農	田	竹	蔵	青	大	吉	松	春	濱	土	戸	
田島	崎	野	22	阪	山	下	田	大	森	細	植	射	大	堀	浜	上	植	上	大	持	農	田	竹	蔵	青	大	吉	松	春	濱	土	戸	
伸敏	彦	彦	守	修	司	潔	逸	修	久	馬	美	喜	重	雄	裕	三	司	求	夫	文	郎	一	彰	憲	明	秀	澄	隆	助	治	明	延	
田川	加	奥	大	横	松	松	堀	野	近	鯉	金	大	大	若	堀	深	西	中	玉	玉	田	関	大	稲	大	山	山	堀	林	玉	小	大	
中崎	藤	村	24	山	田	井	内	村	勝	典	寿	武	大	大	堀	深	西	中	玉	玉	田	関	大	稲	大	山	山	堀	林	玉	小	大	
恒重	雅	淳	大	治	善	勝	典	寿	武	大	大	堀	深	西	中	玉	玉	田	関	大	稲	大	山	山	堀	林	玉	小	大	大	大	大	
男喜	一	勉	久	嗣	裕	良	修	之	雄	史	寛	一	純	夫	三	司	求	夫	文	郎	一	彰	憲	明	秀	澄	隆	助	治	明	延	延	
重稻	大	近	高	上	大	高	大	岡	大	古	藤	中	川	大	大	山	福	永	中	田	石	大	中	大	大	山	山	堀	林	玉	小	大	
田住	26	森	見	林	大	高	大	岡	大	古	藤	中	川	大	大	山	福	永	中	田	石	大	中	大	大	山	山	堀	林	玉	小	大	
博均	彦	義	史	一	豊	博	幸	弘	之	史	勉	延	治	夫	三	司	求	夫	文	郎	一	彰	憲	明	秀	澄	隆	助	治	明	延	延	
奥緒	浅	大	三	馬	大	服	西	田	桑	奥	岡	大	森	濱	篠	小	大	上	大	増	福	野	大	杉	柏	大	足	大	土	木	岩	大	
田方	見	29	崎	場	大	部	川	中	島	田	野	大	森	濱	篠	小	大	上	大	増	福	野	大	杉	柏	大	足	大	土	木	岩	大	
俊俊	正	寛	夫	修	啓	広	彰	一	樹	徹	二	亨	司	宏	彦	人	一	二	彦	誠	欣	利	義	浩	達	博	博	也	文	之	之	之	

武大30管	山本嘉明	舟橋伸夫	鮫島寛行	大30会	村上雅洋	六車信義	藤坂祐宏	丹羽康之	神谷佳伸	浅野卓也	大30管	吉田繁喜	水落ゆたか	野村孝治郎	大江康浩	磯野和也	池亀徹	大30濟	飯塚浩彦	大29管	中野達也	坂根徹	片山妙子	大29会	山内敦雄	山本裕之	上田信子	大29管	吉本準一	鈴木教義	酒井嘉登	大31濟		
西野忠宏	中村伸一	大33会	中西広幸	木村成徳	清塚英明	北野	大33濟	青山登	大32管	柳雅二	田口弘聡	大32会	岩田雄一	米山孝二	水上康弘	松原俊夫	斜木克彦	酒井康就	大29管	木村貢	大32濟	藤井登均	中村均	大31管	関正嗣	四方省吾	大31管	福田徳実	加藤嘉夫	梅垣和敬	相本民男	大31濟		
小林晋	天野優	大36管	増田晴	堀口卓司	川口昌彦	金岡幸次	大36濟	小林正敏	大35会	山田真一	能登英彦	富山好信	西野智寛	新海秀也	大35管	深見則行	岸田直明	清水範之	大35濟	小山真示	梅岡敦司	大34管	岡武俊雄	大34会	丸山貴宏	島津泰幸	一丸真信	大34管	森島明	穂積秀明	加藤篤	大34濟		
藤塚敬祐	大40管	立木賢一	塩見賢	大40濟	大園祥一	大39管	市川行彦	原弘	大39管	谷口正宣	大39濟	黒井功次郎	北川昌樹	渡邊久芳	松澤進聡	西島	大38会	武智正裕	石原伸康	大38管	竹村信克	大38濟	河合枝美子	大37管	放示重樹	永瀬敦彦	高木尚久	河合克典	荒井佳伸	大37管	村木丈夫	大37濟		
青木聡史	大45フ	北尾聡子	大45濟	松下昌平	大44会	吉村慎吾	大44フ	林利典	大43	芳村浩樹	大43情管	鈴木泰寛	久嶋淳嗣	熊谷嘉人	大43濟	和田英樹	正田忠宏	上田修	大42濟	伊藤弘隆	大41会	畑瀬英樹	大41管	寺光麻衣子	大41	岡本悠紀	小田学	大41濟	徳永征治	大40管	山本真嗣	大40会		
寺田祥	大57濟	廣野裕子	大56フ	小濱浩史	小池一裕	大54情管	千葉秀穂	大54濟	梅田祐貴子	大53社シ	大53企	松江大輔	大53濟	岡野涉子	大52企	榎本雅寛	大49企	岡崎宏哉	大48情管	大62フ	堀本城治	大61企	尾谷文也	大61フ	津田健太郎	大59会情	中村早織	大58社	藤波智彦	大57情	勝川和人	大57フ		
吉野颯真	経大71企	小畑諒人	経大70	Shuyi Zhang	経大70フ	上田知展	DS大1	仲田帆志弥	大久保叡一	経大69	北垣海人	経大69企	中井颯人	山野礼真	大68	原田夢乃	大66フ	中島哲	大62会情	鈴木慶太	大62フ	堀本城治	大61企	尾谷文也	大61フ	津田健太郎	大59会情	中村早織	大58社	藤波智彦	大57情	勝川和人	大57フ	
日高信次	短9	佐藤嘉代子	短1	中村亮太	横山花恋	武田惇輔	得能悠平	藤堂華子	竹内優貴	新居さくら子	小林大起	山岡ひのき	砂田一郎	栗原真飛人	吉本真智	花田光生	綾部光希	経大73	戸簾隼人	久保直也	マイルズポール	DS院5	DS院4	津野竜弥	DS大4	堺彩華	小國溪吾	経大72	山崎大輔	DS大3	霜尾颯汰	小林直輝	経大71	短10
			清塚徳	大33濟	吉本準一	大29濟	岡本幸博	大25管	中村勝	大25濟	脇阪守	大21管	森口修逸	大21濟	市川誠	大20					長澤秀紀	DS院3前	金澤佳云	院47濟	中林裕詞	院28	若林宏亘	短14	沼田満	短13	笹山浩一	短10		

提寄
供付
者金

エレベーターを通じて、物流を担い、物流は経済を支え、未来を作ります



守谷輸送機工業株式会社

<https://moriya-elevator.co.jp/>

代表取締役社長 守谷 貞夫(大12回)
田村 寿夫(大12回)

本社・工場 〒236-0004 横浜市金沢区福浦1-14-9 TEL(045)785-3111 FAX(045)780-1881
サービスセンター 〒236-0004 横浜市金沢区福浦2-15-1 TEL(045)785-3811 FAX(045)780-1882
テクニカルセンター 〒221-0056 横浜市神奈川区金港町1-7横浜ダイヤビルディング19F TEL(045)624-8030 FAX(045)624-8034
東京支店 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-12-8-7F TEL(03)6228-3460 FAX(03)6228-3350

名古屋支店 大阪支店 福岡支店 宇都宮工場 鳥浜製品管理センター 埼玉事務所
群馬城北事務所 千葉事務所 厚木事務所 西埼玉事務所 北摂事務所 上海守谷電梯有限公司

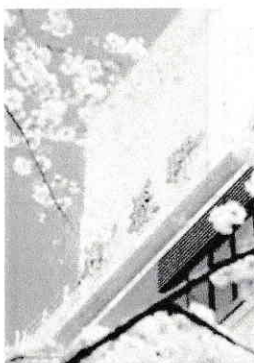
α+ ALPHA PLUS CO.,LTD

代表取締役 岡本 幸博(大25回)



株式会社 アルファプラス
〒274-0813 千葉県船橋市南三咲 3-5-48
TEL 090-3220-0595 FAX・TEL 047-449-3633
URL <https://alpha-plus.co.jp/>E-mail: okamoto@alpha-plus.co.jp

・一般ファッション生地以外に吸水拡散して防水できる生地扱っています。
・電磁波防止・廃棄食品で染色した生地、和紙で作った生地もあります。



ご宴会・ご婚礼・出張料理
レストラン(洋食)・グリルフクシマ



上野精養軒

〒110-8715 東京都台東区上野公園 4番58号
TEL 03-3821-2181(代)
FAX 03-3822-1330
<https://www.seiyoken.co.jp> 上野精養軒
オンラインショップはこちら▶



上野精養軒本店
レストラン(洋食)

GRILL
グリルフクシマ



相続税対策・申告、贈与税申告のご相談ならば

公認会計士 松澤進 事務所

法人税・所得税(確定申告)・相続税・贈与税・学校法人監査
〒140-0013 東京都品川区南大井 6丁目17番15号401
電話: 03-6423-0383 FAX:03-6423-0382 IIP:<https://www.tax1st.jp>
所長: 公認会計士・税理士 松澤 進(大学38回)
ウインドサーフィン部第6代主将 会計士同好会昭和63年度会長



CHARMANT

株式会社 シヤルマン

名誉会長相談役 堀川 馨 (大7回)
取締役専務執行役員 松宮 利裕 (大31回)

～「ラインアートシャルマン 銀座並木通り」は、
一人ひとりの最適な眼鏡に出会える場所です～

<http://www.charmant.co.jp>

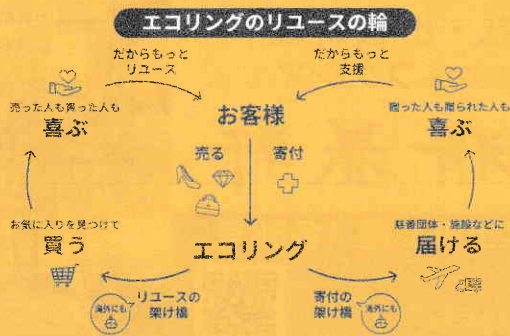


本社・工場所在地 福井県鯖江市川去町6-1 TEL : 0778-52-4141

【工場】福井県鯖江市(基幹工場)、中国広東省東莞市、福建省廈門市
 【直営店】「ラインアート シャルマン 銀座並木通り」東京都中央区銀座5-4-8 TEL : 03-3571-4141
 ※直営店にご来店の際は、「陵水会会員」であることを是非スタッフまでお伝えください。
 特別なご優待をご用意しております。
 【国内販売拠点】札幌、仙台、大宮、横浜、東京、名古屋、大阪、広島、福岡
 【海外販売拠点】アメリカ、フランス、ドイツ、中国、韓国、シンガポール、マレーシア、インドネシア

不要品のリユース体験するなら、
ブランド品から日用品まで買い取れる

感動買取の エコリングへ!



エコリング 検索

発行所
〒140-0013 東京都品川区南大井6-17-15
第2タジマビル401
公認会計士松澤進事務所内
陵水会東京支部 支部長 緒方俊輔
電話03(6423)0383
印刷所
〒110-0015 東京都台東区東上野1-28-3
船舶印刷株式会社
電話03(3831)4181

※編集室のメールアドレスは
kueno0123@gmail.com
(次号分/切日十月末日)

植野 克美 (大21)
〒277-0812 千葉県柏市花野井7-13-32
(携帯) 090(7278)8844

当紙に関する問合せ先

